

# 秋田県埋蔵文化財センター一年報

## 40

令和3年度

2022・6

秋田県埋蔵文化財センター

シンボルマークは、北秋田市白坂（しろざか）遺跡出土の  
「岩偶」です。

縄文時代晩期初頭、1992年8月発見、高さ7cm、凝灰岩。

## 序

秋田県埋蔵文化財センターは、県内に所在する埋蔵文化財の調査と研究を目的として、設立された公的機関です。主な業務は、国道、ダム建設等の国や県が施工する公共事業に係る遺跡の記録保存を目的とする緊急発掘調査と調査成果を基にした活用事業及び出土品・記録資料等の保管・管理業務です。

令和3年度、当センターでは、能代市3遺跡、にかほ市2遺跡、湯沢市2遺跡、東成瀬村1遺跡の合計8遺跡において、約2万4千平方メートルの緊急発掘調査を実施しました。能代市茱萸ノ木遺跡は、令和元年から3か年にわたる調査により、県北部の円筒土器文化圏に属する遺跡で、縄文時代中期の盛土遺構を中心とした大規模な集落跡であることが分かりました。また、湯沢市赤塚遺跡では、令和元年に続く2年目の調査を行い、縄文時代中期後半の集落跡を検出しました。竪穴建物跡の数は2か年合計で71棟にのぼり、この時期の県南部の集落の変遷を考える上で貴重な発見となりました。さらに、湯沢市横堀中屋敷遺跡では縄文時代後期前葉の集落跡、にかほ市大南遺跡では中世の竪穴状遺構や陶磁器類を検出しました。

令和3年度の活用事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で3年連続で報告会を中止にするなど、当初計画の変更を余儀なくされました。そうした中、今年度当センターが発掘調査した代表的な遺跡の報告の動画配信や3月中旬に県立図書館で行った「あきた遺跡発掘最前線！2021」と題した出張展示などにより、今年度の発掘調査の成果を県民に情報発信することが出来ました。この他、企画展「あきた遺跡発掘物語」、企画コーナー展「大仙市所蔵考古資料展」の開催やセカンドスクール、出前授業、出張展示等多くの要望に応じてまいりました。

本書は、令和3年度に秋田県埋蔵文化財センターが実施した事業活動をまとめたものであります。これまで行ってきた埋蔵文化財の緊急発掘調査事業や活用事業は、文化財保護思想の普及・啓発に与してきたものと考えております。

今後とも当センターの関連事業につきましては、より一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月

秋田県埋蔵文化財センター

所長 磯村 亨

# 目 次

第1章 沿革	1	(3) 博物館実習	37
第2章 組織・施設		(4) 教員免許更新講習	37
第1節 組織	2	(5) 中堅教員等資質向上研修	37
第2節 施設の概要	2	7 貸し出し	
第3章 令和3年度のあゆみ	3	(1) 貸し出しキット等	37
第4章 事業の概要		(2) 資料貸し出し	38
第1節 発掘調査事業		(3) レファレンス	38
1 発掘調査一覧		第3節 その他の活動	
(1) 発掘調査	7	1 図書整理・公開	
(2) 確認調査	7	(1) 全国遺跡報告総覧への公開	39
(3) 整理	7	(2) 秋田県立図書館「デジタルアーカイブ」への一般公開	39
(参考) 教育庁払田柵跡調査事務所	8	2 刊行物	39
(参考) 市町村教育委員会等による発掘調査一覧	8	3 講演・研究論文等	40
2 発掘調査概要		4 職員研修会	
(1) 茱萸ノ木遺跡	10	(1) 新任職員研修	42
(2) ヲフキ遺跡	12	(2) アンガーマネジメント研修	42
(3) 大南遺跡	14	(3) 職員技術研修会	42
(4) 横堀中屋敷遺跡	16	(4) 文書管理システム操作研修会	42
(5) 北ノ又沢Ⅲ遺跡	18	(5) 久保田城跡出土木製品材種同定研修	43
(6) 竜毛沢Ⅳ・Ⅴ遺跡	20	(1) ストレスに負けない食事	43
(7) 赤塚遺跡	22	(7) 防災・避難訓練、交通安全講話	43
第2節 活用・普及事業		(8) 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会北海道・東北ブロック会議	43
1 活用・普及事業一覧表	24	第4節 40周年記念事業	
2 遺跡現地見学会	25	(1) 記念式典	44
3 展示		(2) 企画展示	44
(1) 企画展	25	(3) 連載コラム	44
(2) あきた埋文発掘調査速報展・大仙市所蔵考古資料展	25	(4) 記念グッズ等	44
(3) あきた埋文出張展示	26	(5) あゆみ（平成22年度から令和2年度まで）	44
4 講演会・講座		第5章 運営協議会	
(1) 講演会	28	1 委員	51
(2) あきた埋文考古学セミナー	28	2 事務局	51
(3) あきた埋文金曜講座	29	3 第1回	
(4) 埋蔵文化財発掘調査報告会	30	(1) 案件	51
(5) 県庁出前講座	30	(2) 意見・提言・要望等	51
5 体験教室		4 第2回	
(1) 主な体験メニューと概要	31	(1) 案件	52
(2) オープンラボ	31	(2) 意見・提言・要望等	52
(3) 払田柵跡の歩き方	36	職員名簿	53
6 学校利用・研修等			
(1) セカンドスクールの利用	36		
(2) インターンシップ	37		

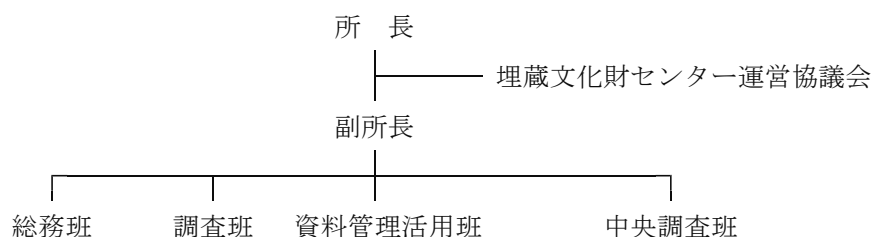
## 第1章 沿革

昭和55年2月	秋田県埋蔵文化財センター設立計画公表
昭和55年10月26日	建設工事開始
昭和56年8月31日	センター、第1収蔵庫完成
昭和56年10月1日	設置条例施行、職員発令、業務開始
昭和56年11月2日	落成記念式典挙行
平成5年1月	第2収蔵庫完成
平成10年4月2日	鷹巣町（現北秋田市鷹巣）に秋田北分室開設
平成11年12月20日	秋田市に秋田整理室開設
平成12年4月4日	秋田整理室が秋田中央分室となる
平成13年4月2日	機構改革により南調査課、北調査課、中央調査課の3課体制となる
平成13年6月20日	秋田県甘肅省文化交流事業により交流員の相互交流開始
平成14年3月2日	秋田県埋蔵文化財センター設立20周年記念式典挙行
平成15年10月17日	秋田県甘肅省文化交流事業磨嘴子遺跡合同発掘調査開始
平成15年10月30日	センター屋根、外壁、内部大規模改修工事
平成17年4月1日	男鹿市に中央調査課男鹿整理収蔵室開設
平成20年3月31日	北調査課、中央調査課閉課
平成20年4月1日	機構改革により総務班・調査班・資料管理活用班・中央調査班の4班体制となる。
平成22年7月1日	秋田市に中央調査班移転
平成24年3月6日	秋田県埋蔵文化財センター設立30周年記念式典挙行
平成28年9月4日	秋田県埋蔵文化財センター設立35周年記念講演会開催
令和3年	秋田県埋蔵文化財センター設立40周年記念式典

\*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

## 第2章 組織・施設

### 第1節 組織



### 第2節 施設の概要

#### 本所（総務班・調査班・資料管理活用班）

所在地 〒014-0802 秋田県大仙市払田字牛嶋20番地

TEL 0187-69-3331 FAX 0187-69-3330

敷地面積		6,962.000㎡
本所建物	鉄筋コンクリート2階建	1,527.304㎡
第1収蔵庫	鉄骨造平屋建	360.000㎡
第2収蔵庫	鉄骨造平屋建	297.680㎡
電気・ポンプ室	平屋建	59.780㎡

#### 中央調査班

所在地 〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町11-1

TEL 018-893-3901 FAX 018-893-3899

建物	鉄筋コンクリート平屋建	2,141.000㎡
----	-------------	------------

#### 男鹿収蔵庫

所在地 〒010-0502 秋田県男鹿市船川港比詰字餅ヶ沢200

敷地面積		55,521.000㎡
建物	鉄筋コンクリート3階建	7,524.360㎡

### 第3章 令和3年度のあゆみ

#### 【令和3年】

- 4月1日 新任式、会計年度任用職員辞令交付式（本所・中央）
- 4月2日 オープンラボ「考古学に触れよう（コースターづくり等）」  
（放課後デイサービス・みらいずカレッジ）参加者13人
- 4月5日 第1回全体職員会
- 4月6日 転入職員研修（～4月8日）
- 4月7日 第1回連絡会
- 4月8日 男鹿収蔵庫定期点検
- 4月14日 市町村文化財主管課長会議（生涯学習センター）
- 4月21日 第2回連絡会
- 4月23日 第1回職員会（本所・中央）
- 4月28日 第3回連絡会
- 5月1日 企画展「あきた遺跡発掘物語～時代を追う、あきた埋文40年の軌跡～」開催（～2/27）
- 5月10日 茱萸ノ木遺跡表土除去（～5/21）
- 5月13日 第4回連絡会
- 5月17日 横堀中屋敷遺跡表土除去（～5/27）、赤塚遺跡表土除去（～5/28）  
柳原・立浪遺跡確認調査（～6/4）
- 5月18日 ヲフキ遺跡表土除去（～5/20）
- 5月22日 第1回考古学セミナー「片貝家ノ下遺跡の古代埋没建物」（北秋田市民ふれあいプラザ）  
参加者38人 オープンラボ「親子で縄文体験（縄文料理）」（さとびあ） 参加者14人
- 5月26日 第5回連絡会、栗田支援学校合同避難訓練（中央調査班）
- 5月28日 第2回職員会（本所・中央）
- 5月31日 栗田支援学校現場実習（1人、～6/4）（中央調査班）
- 6月1日 茱萸ノ木遺跡（～10/29）、ヲフキ遺跡・大南遺跡（～8/25）、竜毛沢Ⅳ・Ⅴ遺跡（～7/29）  
発掘調査開始
- 6月4日 第1回金曜講座「北前船と笏谷石～福井から来た緑色の石～」参加者14人
- 6月7日 赤塚遺跡発掘調査開始（～10/7）
- 6月9日 第6回連絡会
- 6月11日 大巻遺跡試掘調査協力
- 6月14日 大南遺跡表土除去（～6/17）
- 6月15日 横堀中屋敷遺跡発掘調査開始（～10/28）
- 6月18日 出張展示①「能代周辺の埋蔵文化財」（能代市文化会館、～6/19）（能代市おもしろ塾協賛）
- 6月19日 オープンラボ「土器ってなあに？土器片クッキー作り体験」（さとびあ）参加者10人
- 6月23日 第7回連絡会

- 6月25日 第3回職員会、職員研修会（アンガーマネジメント）（本所・中央）
- 7月1日 清水沢遺跡確認調査（～7/9）
- 7月2日 団体見学（南海国際旅行18人）、出張展示（雄物川小学校、～7/20）  
第2回金曜講座「旅するアクセサリー～弥生時代にみる交流～」 参加者17人
- 7月7日 第8回連絡会
- 7月8日 団体見学（ペアーレ30人）
- 7月9日 団体見学（大仙市地域活動支援センター45人）
- 7月17日 出張展示②「あきた埋文の発掘最前線」（県立図書館、～8/17）  
第2回考古学セミナー「あきた埋文の発掘最前線」（生涯学習センター） 参加者19人
- 7月25日 オープンラボ「ミニ土器づくり」（さとぴあ） 参加者12人
- 7月27日 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産登録記念集会（県庁第二庁舎）  
大曲工業高校インターンシップ生受入（3人、～7/29）
- 7月28日 第9回連絡会、オープンラボ「縄文体験」（さくまる館） 参加者33人
- 7月29日 オープンラボ（秋田市立桜小学校） 中止
- 7月30日 第4回職員会（本所・中央）
- 7月31日 体験教室「払田柵跡の歩き方」 参加者20人
- 8月5日 オープンラボ「縄文を体験しよう」（二ツ井図書館） 参加者8人
- 8月6日 第3回金曜講座「文献史料から考える平安時代前期の出羽国」 参加者19人
- 8月11日 道女木遺跡試掘確認調査（～8/12）
- 8月12日 オープンラボ（横手市境町公民館） 中止
- 8月17日 第10回連絡会、大仙市教育委員会初任者研修 参加者12人
- 8月20日 出張展示③「秋田市の縄文から中世」（さとぴあ、～9/30）
- 8月23日 北ノ又沢Ⅲ遺跡表土除去（～9/1）
- 8月26日 第11回連絡会
- 8月27日 第5回職員会（本所・中央）  
第3回考古学セミナー「発掘でわかった秋田市の原始・古代」（さとぴあ） 9月18日に延期
- 9月3日 第4回金曜講座 11月12日に延期
- 9月4日 オープンラボ（さとぴあ） 中止
- 9月6日 博物館実習（盛岡大学1人、～9/10）
- 9月7日 第12回連絡会
- 9月9日 男鹿収蔵庫消防設備点検
- 9月10日 職員技術研修会（湯沢雄勝地区開催） 所内のみ
- 9月12日 オープンラボ（象潟公民館） 中止
- 9月14日 大巻Ⅰ・Ⅱ遺跡試掘確認調査（～9/15）
- 9月15日 地下オイルタンクマンホール蓋受枠改修（～9/30）
- 9月18日 第3回考古学セミナー「発掘でわかった秋田市の原始・古代」（さとぴあ） 10月29日に延期
- 9月21日 第13回連絡会



- 9月24日 第6回職員会（本所・中央）
- 9月29日 みんなでクリーンアップ
- 10月1日 第5回金曜講座「古代城柵からみた雄勝城」（高橋学氏） 参加者14人  
整理作業員辞令交付（本所2人）
- 10月2日 出張展示④「土器に生ける秋の草花展」（農業科学館、～10/10）
- 10月3日 あきた埋文講演会（さきがけホール）中止
- 10月4日 北ノ又沢Ⅲ遺跡発掘調査（～11/18）
- 10月5日 出張展示⑤「アンダー×ワンダー県北の考古旅編」（アトリエももさだ、～10/15）  
第14回連絡会
- 10月7日 男鹿収蔵庫状況確認
- 10月8日 男鹿収蔵庫電源配線工事
- 10月11日 フフキ遺跡確認調査（～10/20）
- 10月19日 県庁出前講座「秋田の古代と払田柵跡の発掘調査成果」（秋田市中心市民サービスセンター） 参加者65人
- 10月20日 第15回連絡会
- 10月21日 団体見学（大曲商工会議所12人）
- 10月23日 第4回考古学セミナー「あきた埋文の発掘最前線」（アトリエももさだ）中止
- 10月24日 オープンラボ「縄文体験」（さとぴあ） 参加者11人
- 10月25日 北ノ又沢Ⅰ・Ⅱ遺跡確認調査（～11/12）、出張展示（雄物川小学校、～11/1）
- 10月29日 第7回職員会（本所・中央）、団体見学（大阪国際交流サービス）14人  
第3回考古学セミナー（延期分）「発掘でわかった秋田市の原始・古代」（さとぴあ）  
参加者15人
- 10月30日 オープンラボ「縄文体験」（農業科学館、オータムフラワーフェスタに協力）参加者42人
- 11月5日 第6回金曜講座「文献史料からみた古代城柵論」（高橋一倫氏） 参加者20人
- 11月6日 オープンラボ「石器づくり体験」（さとぴあ） 参加者11人
- 11月10日 第16回連絡会
- 11月11日 役職段階別指定研修「3年目職員研修」（オンライン、～11/12）
- 11月12日 第4回金曜講座（延期分）「古代の堅穴建物跡とその構造」（五十嵐祐介氏） 参加者17人
- 11月15日 小平沢出口遺跡確認調査（～11/26）
- 11月20日 第5回考古学セミナー「旅するアクセサリー～弥生時代にみる交流～」（秋田市御所野児童センター） 参加者20人
- 11月21日 団体見学（西山歩こう会13人、払田柵跡調査事務所対応）
- 11月24日 第17回連絡会
- 11月25日 交通安全講話（中央調査班）
- 11月26日 永年勤続表彰、第8回職員会（本所・中央）、文書システム操作研修会（本所）  
第6回考古学セミナー「遺跡からみた秋田の中世」（さとぴあ） 参加者16人
- 11月29日 立浪遺跡工事立会、団体見学（由利本荘老人クラブ21人）

- 12月 1日 整理作業員辞令交付（本所 2人）
- 12月 3日 第7回金曜講座「村を守る不思議な神様・秋田の人形道祖神を訪ねる」（小松和彦氏）  
参加者20人
- 12月 6日 トイレ洋式化修繕工事（～1/22）
- 12月 7日 第18回連絡会
- 12月14日 久保田城跡出土木製品材種同定研修（県立大木工研 工藤准教授、中央調査班）
- 12月16日 文書システム操作研修会（中央調査班）
- 12月22日 第19回連絡会、第2回地域懇話会（大仙市グランドパレス川端）
- 12月24日 第2回全体職員会、職員研修会（「ストレスに負けない食事」東北中央病院 佐藤美華氏）
- 12月27日 オープンラボ「縄文体験」（仙北市田沢湖公民館） 参加者 9人
- 12月28日 仕事納め・大清掃（本所・中央）

【令和4年】

- 1月 4日 仕事始め（本所・中央）
- 1月 5日 オープンラボ「縄文体験」（秋田市放課後児童クラブるーてる） 参加者42人
- 1月 7日 第8回金曜講座「縄文中期環状集落論」 参加者18人
- 1月21日 第7回考古学セミナー「発掘でわかった久保田城下」（さとぴあ） 参加者13人
- 1月26日 第20回連絡会
- 1月28日 第9回職員会（本所・中央）
- 2月 2日 第21回連絡会
- 2月 4日 第9回金曜講座「秋田県内の『末期古墳』について」 中止
- 2月 7日 報告会リハーサル 中止
- 2月10日 予備監査
- 2月14日 研究紀要検討会 延期
- 2月15日 第2回運営協議会 書面開催
- 2月25日 第10回職員会（本所・中央）書面開催
- 3月 4日 出張展示⑥「あきた遺跡発掘最前線！2021」（～3/15 県立図書館）、大道遺跡確認調査表土除去
- 3月 5日 秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会、オープンラボ（生涯学習センター） 中止
- 3月 7日 大道遺跡確認調査（～3/18）
- 3月14日 団体見学（ふるさと内小友会10人、払田柵跡調査事務所対応）
- 3月15日 教育庁定期人事異動内示、第22回連絡会
- 3月16日 県庁出前講座「縄文時代の石器の流通～大仙市協和上ノ山Ⅱ遺跡の最新研究～」  
（大仙市かみおか嶽雄館） 参加者35人 消防設備点検（本所）
- 3月18日 令和3年度市町村埋蔵文化財担当職員連絡会（オンライン）
- 3月23日 教育庁定期人事異動発表 第23回連絡会
- 3月24日 令和3年度発掘調査遺跡報告配信動画撮影 現像マニュアル検討会（中央）
- 3月25日 第3回全体職員会 研究紀要検討会
- 3月31日 離任式

## 第4章 事業の概要

### 第1節 発掘調査事業

#### 1 発掘調査一覧

##### (1) 発掘調査

No.	遺跡名	事業名等 原因者	所在地 調査期間	面積 (㎡)	主な時代：性格
1	茱萸ノ木遺跡	通常砂防工事（オンデの沢） 県建設部（山本地域振興局）	能代市二ツ井町 6/1-10/29	3,117	縄文：集落跡
2	ヲフキ遺跡	国道7号遊佐象潟道路事業 国土交通省（秋田河川国道）	にかほ市象潟町 6/1-6/24	900	縄文：集落跡
3	大南遺跡	国道7号遊佐象潟道路事業 国土交通省（秋田河川国道）	にかほ市象潟町 6/28-8/25	2,500	縄文～近世：散布地
4	横堀中屋敷遺跡	国道13号横堀道路事業 国土交通省（湯沢河川国道）	湯沢市横堀、小野 6/15-10/28	3,650	縄文：集落跡
5	北ノ又沢Ⅲ遺跡	成瀬ダム建設事業 国土交通省（成瀬ダム）	東成瀬村椿川 10/4-11/18	800	縄文：墓域
6	竜毛沢Ⅳ・Ⅴ遺跡	一般国道7号能代地区線形改良事業 国土交通省（能代河川国道）	能代市二ツ井町 6/1-7/29	9,600	平安：集落跡
7	赤塚遺跡	国道13号横堀道路事業 国土交通省（湯沢河川国道）	湯沢市横堀 6/7-10/7	3,799	縄文：集落跡

##### (2) 確認調査

No.	遺跡名	事業名等 原因者	所在地 調査期間	面積 (㎡)	主な時代
1	柳沢・立浪遺跡	国道13号横堀道路事業 国土交通省（湯沢河川国道）	湯沢市下院内 5/17-6/4	13,500	柳沢：近世 立浪：縄文
2	清水沢遺跡	鳥海ダム建設事業 国土交通省（鳥海ダム）	由利本荘市鳥海町 7/5-7/16	1,250	近世
3	ヲフキ遺跡	国道7号遊佐象潟道路事業 国土交通省（秋田河川国道）	にかほ市象潟町 10/11-10/20	3,000	縄文
4	北ノ又沢Ⅰ・Ⅱ遺跡	成瀬ダム建設事業 国土交通省（成瀬ダム）	東成瀬村椿川 10/25-11/12	15,000	縄文
5	小平沢出口遺跡	雄物川上流河川改修事業 国土交通省（湯沢河川国道）	大仙市協和 11/15-11/26	4,000	中世
6	大道遺跡	国道7号遊佐象潟道路事業 国土交通省（秋田河川国道）	にかほ市象潟町 令和4年3/7-3/18	6,000	縄文

##### (3) 整理

No.	遺跡名	事業名等 原因者	所在地 調査年度	面積 (㎡)	主な時代：性格
1	茱萸ノ木遺跡	通常砂防工事（オンデの沢） 県建設部（山本地域振興局）	能代市二ツ井町 令和元・2・3年度	8,494	縄文：集落跡

2	オノ神遺跡	河川改修工事（芋川） 県建設部（由利地域振興局）	由利本荘市徳沢 令和元・2年度	2,540	旧石器：石器製作跡 縄文：集落跡
3	峰吉川中村遺跡	雄物川上流河川改修事業 国土交通省（湯沢河川国道）	大仙市協和 令和2年度	803	平安～近世：集落跡
4	横堀中屋敷遺跡	国道13号横堀道路事業 国土交通省（湯沢河川国道）	湯沢市横堀、小野 令和2・3年度	9,050	縄文：集落跡
5	ヲフキ遺跡	国道7号遊佐象潟道路事業 国土交通省（秋田河川国道）	にかほ市象潟町 令和3年度	900	縄文：集落跡
6	大南遺跡	国道7号遊佐象潟道路事業 国土交通省（秋田河川国道）	にかほ市象潟町 令和3年度	2,500	縄文～近世：散布地
7	烏野上岱遺跡	一般国道7号能代地区線形改良事業 国土交通省（能代河川国道）	能代市二ツ井町 令和元・2年度	13,300	縄文：狩猟場
8	竜毛沢Ⅳ・Ⅴ遺跡	一般国道7号能代地区線形改良事業 国土交通省（能代河川国道）	能代市二ツ井町 令和3年度	9,600	平安：集落跡
9	赤塚遺跡	国道13号横堀道路事業 国土交通省（湯沢河川国道）	湯沢市横堀 令和元・3年度	6,720	縄文：集落跡
10	久保田城跡	あきた芸術劇場整備事業 県観光文化スポーツ部	秋田市千秋明德町 平成30・令和元・2年度	12,310	平安：集落跡 近世：城館跡
11	神田遺跡	国道7号遊佐象潟道路事業 国土交通省（秋田河川国道）	にかほ市象潟町 令和2年度	5,250	縄文：集落跡
12	代官小路遺跡	地方街路交付金事業 （停車場栄町線：裏尾崎町） 県建設部（由利地域振興局）	由利本荘市裏尾崎町 令和2年度	220	江戸：武家屋敷跡
13	北ノ又沢Ⅲ遺跡	成瀬ダム建設事業 国土交通省（成瀬ダム）	東成瀬村椿川 令和3年度	800	縄文：墓域

（参考）教育庁払田柵跡調査事務所

No.	遺跡名	調査目的	所在地 調査期間	面積 (㎡)	主な時代：性格
1	史跡払田柵跡 （第155次）	史跡内容確認調査	大仙市払田・美郷町本堂 城回 6/1-9/15	172	平安：城柵官衙跡
2	猫袋遺跡 （第2次）	遺跡内容確認調査 （払田柵跡関連遺跡調査）	横手市雄物川町 11/2-11/12	39	奈良：集落跡

（参考）市町村教育委員会等による発掘調査一覧

No.	遺跡名	調査機関 調査目的・事業名等	所在地 調査期間	面積 (㎡)	主な時代：性格
1	大館城跡	大館市教育委員会 大館市役所本庁舎建設事業	大館市字中城 10/1～11/30	880	中世・近世 ：城館跡
2	史跡檜山安東氏城館跡 （檜山城跡）	能代市教育委員会 史跡内容確認調査	能代市檜山 6/28～9/22	87	中世：城館跡
3	赤ハゲⅠ遺跡	能代市教育委員会 県営ほ場整備事業	能代市浅内 6/28～7/15	1,100	縄文・平安 ：集落跡

4	館ノ下遺跡	五城目町教育委員会 ----- 県営ほ場整備事業	五城目町浦横町 ----- 6/15～9/30	1,237	縄文・平安 : 集落跡
5	史跡秋田城跡 (第116次)	秋田市観光文化スポーツ部 秋田城跡歴史資料館 ----- 史跡内容確認調査	秋田市寺内焼山 ----- 4/12～8/31	400	奈良・平安 : 城柵官衙 跡
6	大又Ⅱ遺跡	秋田市観光文化スポーツ部 ----- 県営ほ場整備事業	秋田市雄和田草川 ----- 6/17～10/31	3,720	平安: 集落 跡
7	久保田城跡	秋田市観光文化スポーツ部 ----- 千秋久保田町マンション建設工事	秋田市千秋久保田町 ----- 9/1-11/5	445	近世: 城館 跡
8	出川Ⅰ遺跡	美郷町教育委員会 ----- 県営ほ場整備事業	美郷町鑓田 ----- 5/6～8/11	240	平安: 散布地
9	屋敷田遺跡	美郷町教育委員会 ----- 県営ほ場整備事業	美郷町鑓田 ----- 5/6～8/11	2,652	平安: 散布 地
10	南鎧ヶ崎遺跡	美郷町教育委員会 ----- 遺跡地図作成	美郷町六郷東根 ----- 9月中旬～下旬	73	中世: 散布 地
11	大清水Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 遺跡	横手市教育委員会 ----- 県営ほ場整備事業	横手市平鹿町浅 舞 ----- 5/10～8/6	4,450	縄文・平安 : 集落跡
12	金沢城跡(第13次)	横手市教育委員会 ----- 後三年合戦関連遺跡調査事業	横手市金沢 ----- 9/13～11/13	188	平安・中世 : 城館跡
13	十足馬場西遺跡	雄勝城・駅家研究会 ----- 学術調査	横手市雄物川町 造山 ----- 9/1～11/7	248	奈良: 集落 跡
14	上谷地遺跡隣接地	由理柵・駅家研究会 ----- 学術調査	由利本荘市土谷 ----- 10/16～10/24	68	平安: 散布 地

## 2 発掘調査概要

### (1) 茱萸ノ木遺跡

#### ①調査要項

所在地	秋田県能代市二ツ井町荷上場字茱萸ノ木167外
調査期間	令和3年6月1日～令和3年10月29日
調査面積	3,117㎡
遺跡の時代	縄文時代（中期、後期初頭）、古代
遺跡の性格	集落跡、盛土遺構・捨て場、配石遺構・列石遺構
事業名	通常砂防工事（オンデの沢）
事業関係機関	秋田県山本地域振興局建設部
調査担当	小山美紀、大上立朗

#### ②調査概要

検出遺構		主な出土遺物
縄文時代	竪穴建物跡 3棟 土器埋設遺構 3基 配石遺構 2基	縄文時代 土器、土製品、 石器、石製品 古代 埋没木
古代以降	炭焼遺構 1基 掘立柱建物跡 1棟 性格不明遺構 1基	
時期不明	柱穴様ピット54基	

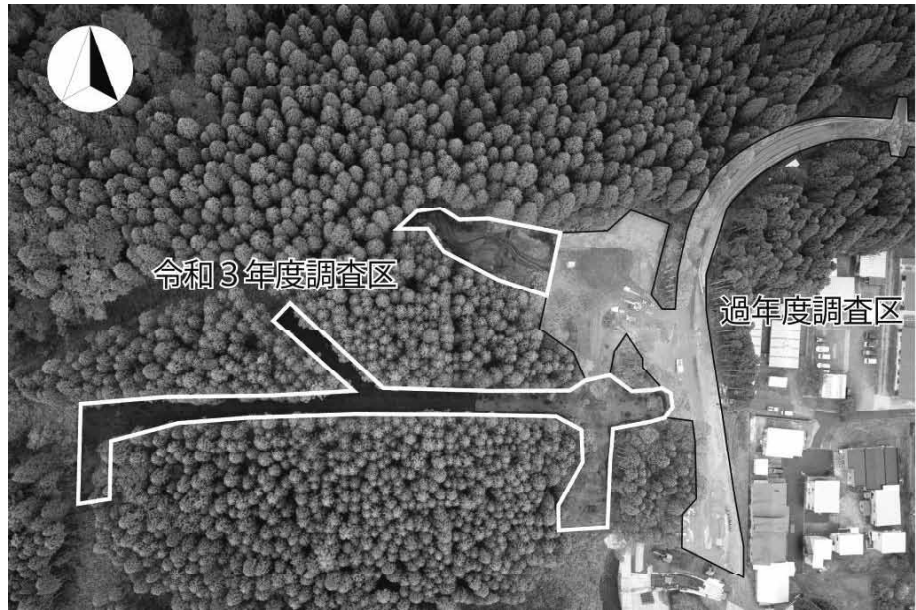
茱萸ノ木遺跡は、JR二ツ井駅から北東約3.7km、米代川とその支流である藤琴川の合流地点から北へ約3.8kmに位置し、藤琴川右岸の河岸段丘に立地する。砂防工事に伴って3か年にわたる調査が行われ、最終年度となる今年度は対象範囲8,238㎡のうち、3,117㎡の調査を行った。

調査区東部の台地上では、縄文時代の竪穴建物跡や土器埋設遺構、フラスコ状土坑などが集中して検出された。台地東側の縁辺で検出された竪穴建物跡は、直径約5.2mの円形を呈し、4本の柱穴が確認された。一段低くなった中央部分には炉があり、床面から中期前葉の遺物が出土している。その西側から検出された竪穴建物跡は、直径約6.9mの隅丸方形で、4本の柱穴が確認された。周辺からは中期中葉の遺物が出土している。台地の平坦面は縄文時代中期に居住域として利用されていたと考えられる。

調査区北部の沢周辺では、縄文時代と古代の焼土遺構が少数検出された。全体的には、縄文時代以降、現代に至るまで土石流等により地形改変を繰り返してきた場所であることがわかった。

調査区西部の傾斜地では、古代以降のものとみられる掘立柱建物跡や多数の柱穴様ピットが検出された。中腹付近では、長さ1.5m程の埋没木が出土していることから、縄文時代以降に大規模な地滑りが起きた可能性がある。

3か年にわたる調査の結果、本遺跡は盛土遺構を中心とする縄文時代中期の大規模な集落であり、円筒土器文化圏に属する秋田県北部を代表する遺跡の一つであることが判明した。また、盛土形成後に作られた配石遺構は、縄文時代後期の米代川流域に分布する環状列石の発生を考える上で重要である。



調査区全景  
(上空から)



竪穴建物跡  
(南西から)



出土遺物

## (2) ヲフキ遺跡

### ①調査要項

所在地	秋田県にかほ市象潟町大砂川字ヲフキ24外
調査期間	令和3年6月1日～令和3年6月24日
調査面積	900㎡
遺跡の時代	縄文時代
遺跡の性格	集落跡
事業名	国道7号遊佐象潟道路事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所
調査担当	高橋和成、結城智

### ②調査概要

検出遺構	主な出土遺物
縄文時代 土器埋設遺構 1基 土坑 1基 柱穴様ピット 46基	縄文時代 土器 剥片石器 礫石器

ヲフキ遺跡は、JR羽越本線上浜駅から南東約1kmに位置し、鳥海山山麓の北西裾部、標高31m前後の丘陵に立地する。遺跡の南側800mには川袋川が西流し、日本海へと注いでいる。

本遺跡ではこれまで3次にわたる発掘調査が行われ、縄文時代前期から晩期、平安時代、中世、近世に集落が営まれていたことが分かっている。特に、縄文時代の遺物が多く、土器・石器の他、土偶等の土製品、石棒や石剣、装飾品等の石製品、骨角器等種類が豊富である。

今回の調査では、縄文時代の遺構・遺物を検出した。調査区の旧地形は北から南に向かって傾斜していることが分かり、北端で土器埋設遺構を検出した。二つの縄文土器の底を重ねて埋められたものである。その他、調査区の南側で多く検出した柱穴様ピットは、建物を構成する柱と考えられる。土器埋設遺構の検出面とは約1.1mの比高差があり、柱穴群の南はさらに低くなる。柱穴には底面や壁面から礫が出土したのものもある。

出土した縄文土器には前期と後期のものがあり、長い縄文時代の中で断続的に利用された場所であったと考えられる。石器には石鏃・石匙等の剥片石器、凹み石・敲き石等の礫石器がある。

今回の発掘調査地は、遺跡の北端にあたり、隣接する第一次及び第三次調査区から土器埋設遺構や土坑墓等が検出されていることから、墓域または祭祀域にあたる地域である可能性が高い。



遺跡全景  
(南から)



土器埋設遺構  
(南から)



礫が出土した柱穴跡  
(南東から)



### (3) 大南遺跡

#### ①調査要項

所在地	秋田県にかほ市象潟町大須郷字大南74-1 外
調査期間	令和3年6月28日～令和3年8月25日
調査面積	2,500㎡
遺跡の時代	縄文時代、平安時代、鎌倉時代、室町時代、江戸時代
遺跡の性格	集落跡、散布地
事業名	国道7号遊佐象潟道路事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所
調査担当	高橋和成、結城智

#### ②調査概要

検出遺構	主な出土遺物
中世 竪穴状遺構 1基	縄文時代 土器、剥片石器、礫石器
時期不明 土坑 3基	平安時代 須恵器
柱穴様ピット 148基	中世 青磁、須恵器系陶器、瓷器系陶器、銭貨
	近世 陶磁器

大南遺跡は、JR羽越本線小砂川駅から北東約1km、大須郷集落から南西約400mに位置し、標高41～45mの鳥海火山地の北西端に立地する。遺跡の北東900mの同一の火山地端部には、縄文時代及び弥生時代前期の集落跡を検出した上熊ノ沢遺跡が位置している。また、北東700mには川袋川が西流し、日本海へと注いでいる。

調査の結果、縄文時代から近世に至るまでの遺構・遺物を検出した。また、調査区は耕地整理に伴う水田造成により地形が大きく改変されており、旧地形は調査区の中央が最も低く、南東の調査区外に向かって緩やかに傾斜していたことが分かった。

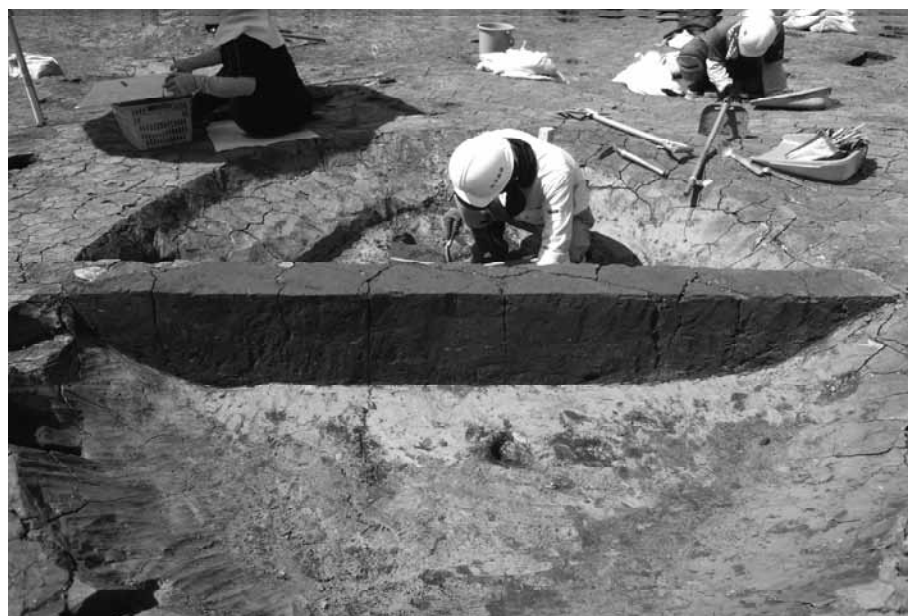
調査区北東側では、竪穴状遺構を1基検出した。この遺構の底面は平らであるが、柱穴が無く、壁の傾斜も緩いことから住居とは考えられない。しかし、壁面に斜めに掘り込まれた穴が見つかっており、上屋を支える柱穴であった可能性がある。遺構内から土器は出土しなかったが、大観通宝が1点出土しており、中世に属すると考えられる。その他、調査区北側を中心に時期不明の柱穴様ピットが多く見ついている。

出土遺物は、縄文時代の土器・石器、平安時代の須恵器、中世の青磁・須恵器系陶器・瓷器系陶器（瀬戸・美濃産）、近世の陶磁器の他、銭貨など様々で、全体的に中世の遺物が多い。中国産青磁や永楽通宝、元符通宝などの渡来銭などが出土していることから、中世の比較的大きな集落の一部であることがうかがわれる。ただし、中世の遺物は、水田造成に伴う盛土の中から他の時代の遺物と一緒に出土していることなどから、集落跡の本体は近隣にあると考えられる。遺跡の北側にある現在の大須郷集落と本遺跡の間が有力と推測される。

遺跡全景  
(西から)



竪穴状遺構  
(北から)



遺跡完掘状況  
(北東から)



#### (4) 横堀中屋敷遺跡

##### ①調査要項

所在地	秋田県湯沢市横堀字下新田13、小野字大沢田225外
調査期間	令和3年6月15日～令和3年10月28日
調査面積	3,650㎡
遺跡の時代	縄文時代（中期～晩期）、中世、近世
遺跡の性格	集落跡
事業名	国道13号横堀道路事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所
調査担当	赤星純平、鈴木裕

##### ②調査概要

検出遺構				主な出土遺物	
縄文時代	土器埋設遺構	3基	フラスコ状土坑	17基	縄文時代 土器、石器 土製品 炭化種子
	焼土遺構	4基	土坑	31基	
時期不明	掘立柱建物跡	1棟	柱穴様ピット	64基	
	溝跡	1条			

横堀中屋敷遺跡は、横手盆地の南端に位置し、雄物川支流の寺田川によって形成された標高149mの扇状地に立地する。昨年度は遺跡の東側5,400㎡を、今年度は西側3,650㎡の発掘調査を行った。昨年度の調査では、北側の河川跡に隣接した地点で木の実の加工等を行っていた水場遺構が見つかった。

今年度の調査では、北側で昨年度検出した河川跡の続きが見つかり、その周囲で縄文時代後期の遺構や遺物が確認された。河川跡に接する段丘上では、フラスコ状土坑を17基確認した。これらは、上部が幅広で、中間部が緩やかにくびれ、底面にかけて少し外側に広がる円筒形で、トチやクルミの炭化種子が出土しており、主に貯蔵用の穴として利用されたと考える。

調査区北側では、フラスコ状土坑を埋めてできたくぼ地で火を焚いた焼土遺構を1基検出した。この遺構の断面では複数の被熱層が確認された。この状況から、最初にくぼ地で火を焚き「地床炉」として使用した後に、縄文土器を敷いた上で火を焚く「土器敷炉」として使われたと考えられる。

調査区中央では、土器埋設遺構3基を検出した。そのうちの1基は、後期前葉の深鉢形土器が用いられており、内部には別個体の土器片が含まれていた。この土器は、内面にススやコゲが付着していることから、煮炊きを使用した後再利用されたと考えられる。

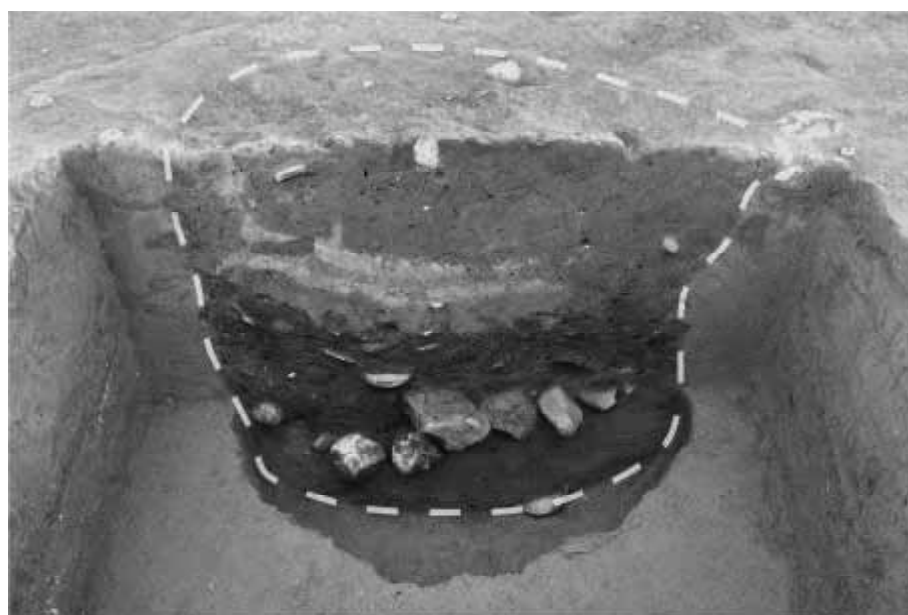
調査区北側は河川跡に隣接する後期前葉の集落跡で、フラスコ状土坑に貯蔵していた木の実の加工等を水場遺構で行い、周辺で食糧を煮炊きしていたと推定される。

この他、昨年度調査で見つかった溝跡の続きや時期不明の掘立柱建物跡が見つかっており、縄文時代以降にも人々の活動の痕跡が認められた。

調査区遠景  
(西から)



フラスコ状土坑  
(南から)



焼土遺構  
(北から)



## (5) 北ノ又沢Ⅲ遺跡

### ①調査要項

所在地	秋田県雄勝郡東成瀬村椿川字北ノ又沢国有林地内
調査期間	令和3年10月4日～令和3年11月18日
調査面積	800㎡
遺跡の時代	縄文時代
遺跡の性格	墓域
事業名	成瀬ダム建設事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所
調査担当	赤上秀人、小松和平

### ②調査概要

検出遺構		主な出土遺物
縄文時代	配石遺構 4基	縄文時代 土器 石器
	土坑 2基	
時期不明	焼土遺構 1基	弥生時代 土器
	土坑 1基	
	柱穴様ピット 3基	
	性格不明遺構 1基	

北ノ又沢Ⅲ遺跡は、成瀬川支流の北ノ俣沢の中流に位置し、崖錐堆積物及び氾濫性堆積物によって形成された標高約470mの段丘に立地する。

調査の結果、配石遺構、土坑、性格不明遺構等が検出された。配石遺構は、段丘の縁辺に沿うように3基、それらに囲まれるように1基確認され、人頭大、拳大の礫を10～20cmの間隔を空けて、直径約2mの範囲内に配置させたものである。遺構面からは石匙、石籠、凹石などが出土している。遺物の出土状況や配石に掘り込みを伴うものがあること等から墓であった可能性がある。

調査区の北西側では、火山灰と思われる締まりの強い細粒土が底面に堆積した土坑が検出され、弥生時代の土器が出土した。火山灰下から検出した柱穴様ピットは、それぞれ約4mの間隔でL字形になるように配置していることから、建物の一部の可能性がある。

今年度の調査区は、土坑や配石遺構などが確認され、縄文時代中期後半から後期にかけて葬送儀礼等を行う祭祀場であったと考えられる。

遺跡全景  
(東側上空から)



配石遺構  
(北から)



火山灰検出状況及び  
弥生土器出土状況  
(西から)



## (6) 竜毛沢Ⅳ・Ⅴ遺跡

### ①調査要項

所在地	秋田県能代市二ツ井町切石字竜毛沢20外
調査期間	令和3年6月1日～令和3年7月29日
調査面積	9,600㎡
遺跡の時代	縄文時代(中期～後期)、平安時代
遺跡の性格	散布地、集落跡
事業名	一般国道7号能代地区線形改良事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所
調査担当	櫻庭悦央、宇田川浩一

### ②調査概要

検出遺構				主な出土遺物	
平安時代	竪穴建物跡	6棟	掘立柱建物跡	2棟	縄文時代 土器、石器
	土坑	19基	炭窯	4基	平安時代 土師器、須恵器
	焼土遺構	2基	鍛冶炉	1基	刀子、砥石
	溝跡	6条	溝跡	6条	刀子、砥石
	柵列	4条	柱穴様ピット	41基	土錘

竜毛沢Ⅳ・Ⅴ遺跡は、JR奥羽本線富根駅から南東2.5km、米代川左岸にある太平山地の突端丘陵、標高約60mの緩やかな傾斜地に立地する。調査区中央を東西に横断する沢を挟んで北側に竜毛沢Ⅳ遺跡(以下、Ⅳ遺跡)、南側に竜毛沢Ⅴ遺跡(以下、Ⅴ遺跡)が位置している。

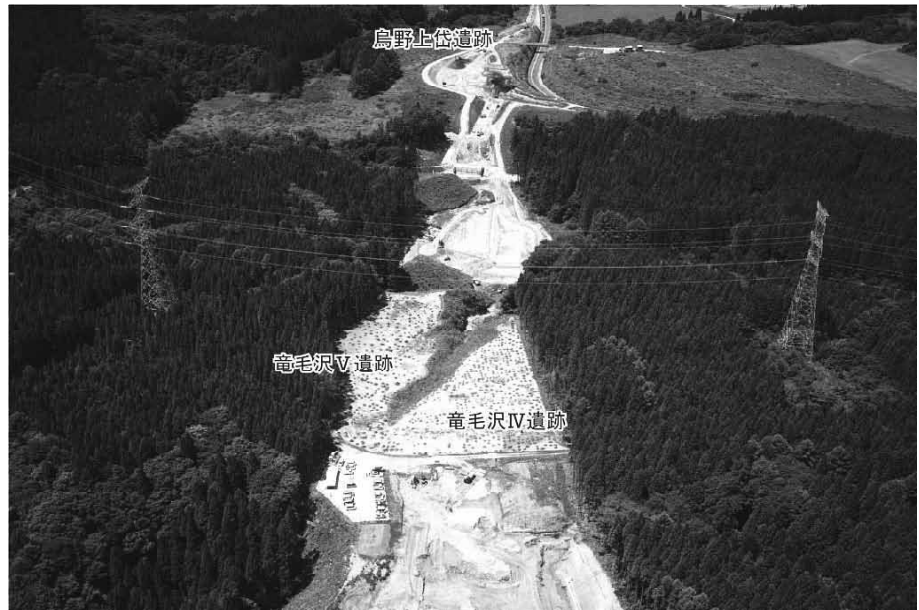
調査の結果、合わせて竪穴建物跡6棟、掘立柱建物跡2棟、炭窯4基、焼土遺構2基、柵列4条、鍛冶炉1基、溝跡6条のほか、多数の土坑や柱穴様ピットが検出された。両遺跡とも、遺構の多くは調査区西側に集中している。遺物は、縄文土器・石器、平安時代の土師器・須恵器・砥石・刀子などが出土した。両遺跡は、遺構の内容や配置などから、関連性が強い一連のものと思われる。

Ⅳ・Ⅴ遺跡とも調査区内はそれぞれ平安時代の溝で区画されていた。

Ⅳ遺跡では、西端で台地先端を区画する溝跡と竪穴建物跡1棟を検出した。

Ⅴ遺跡では、溝跡で区画される西側台地先端部で柱間が4mの三角形の建物が検出された。調査区中央では、柵列を挟んで5基の柱穴による掘立柱建物跡を検出した。柱間が0.9m程度の小さい構造物となる。中央沢の近くの平坦面からは、直径0.6mの鍛冶炉を検出した。この近くには平面形が方形の炭窯が2基あり、鍛冶炉の操業に合わせて炭を生産していたと考えられる。また、南側で検出した竪穴建物跡からは、2点の刀子と砥石が出土しており、鍛冶炉と関連する作業場であった可能性が高い。竜毛沢Ⅳ・Ⅴ遺跡は、生産機能を持ち、防御施設を伴った平安時代の集落跡であることが判明した。

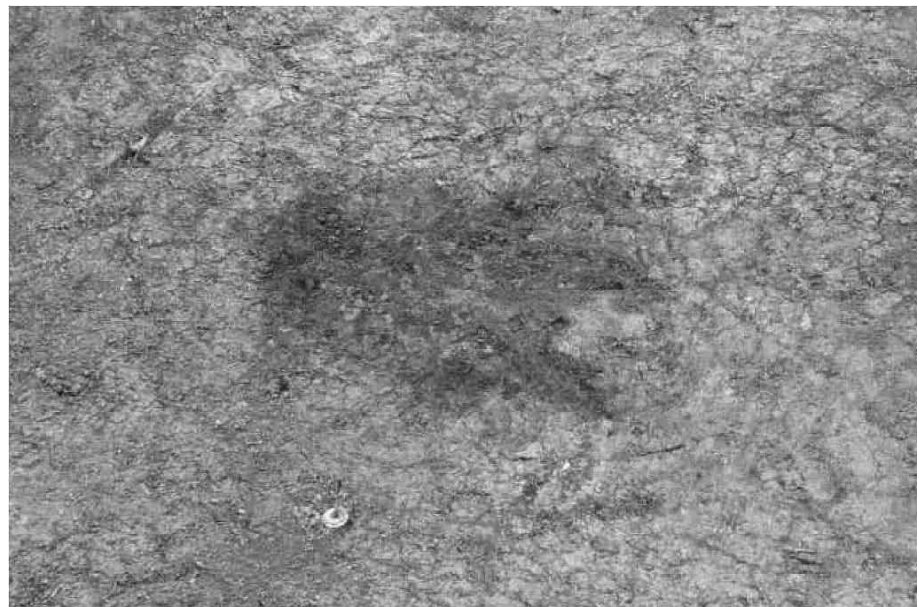




調査区全景  
(東から)



竜毛沢Ⅴ遺跡  
柵列を挟む槽跡  
(東から)



竜毛沢Ⅴ遺跡  
鍛冶炉  
(東から)

## (7) 赤塚遺跡

### ①調査要項

所在地	秋田県湯沢市横堀字赤塚174外
調査機関	令和3年6月7日～令和3年10月7日
調査面積	3,799㎡
遺跡の時代	縄文時代（中期・晩期）、中世、近世
遺跡の性格	集落跡（縄文時代中期後半）、散布地（縄文時代晩期、中世、近世）
事業名	国道13号横堀道路事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所
調査担当	山村剛、森谷康平

### ②調査概要

検出遺構				主な出土遺物
縄文時代	竪穴建物跡	15棟	フラスコ状土坑	縄文時代 土器、石器、石製品
	配石土坑	1基	土坑	
	土器埋設遺構	2基	焼土遺構	中・近世 陶磁器、銭貨
	配石遺構	3基	柱穴様ピット	
	河川跡	1条		

赤塚遺跡は、JR奥羽本線横堀駅の南1.5km、役内川右岸の標高158～159m、河川の氾濫によって形成された自然堤防上に立地する。発掘調査対象範囲6,720㎡のうち、今年度は3,799㎡の調査を行った。2か年の調査の結果、縄文時代中期後半の集落跡であることが判明し、竪穴建物跡71棟他を検出した。建物跡は前回の調査では、役内川旧河道に沿って半円状に分布していたが、今年度の調査で、集落がさらに東側に広がっていることが確認された。

竪穴建物跡のうち直径6.8mの円形を呈する最も大きな建物跡からは、新旧2基の複式炉が確認された。古い炉は長さ2.2mで埋設土器が1か所、新しい炉は長さ3.2mで埋設土器が2か所にあった。

調査区中央西側で見つかった竪穴建物跡の複式炉には、他の炉と比較して大きな石を石組に使用していた。また、床面からは石棒が出土し、建物中央付近では長さ0.6m、幅0.35mのくぼみに径5～10cmの多数の石が円を描くように配置されており、特異な建物として注目される。

調査区西側で見つかった土器埋設遺構は、幅20cmの扁平な石の上に、高さ20cm程の壺型土器が埋設され、さらにその上に、同じ大きさの石が載せられており、墓の可能性がある。

調査区中央付近では、長軸1.5m、短軸1m、深さ0.4mの楕円形を呈する土坑があり、穴の規模とオーバーハングした形態から貯蔵穴としての使用が考えられる。

2か年にわたる調査から、縄文時代中期後半頃、何度も洪水の被害を受けながらも、一定期間集落を存続させていた人々が居たことが判明した。今後は同時代の遺跡と比較することで、役内川の集落遺跡の特徴が解明されるものと思われる。

遺跡遠景  
(北から)



新旧2基の  
複式炉を伴う  
竪穴建物跡  
(南から)



土器埋設遺構  
(西から)



## 第2節 活用・普及事業

### 1 活用・普及事業一覧表

事業名は簡略化

	事業名	主な内容	開催時期など	対象
見	遺跡現地見学会	遺跡の発掘現地において調査成果を県民に公開	*中止	一般
	企画展	あきた遺跡発掘物語	5/ 1～ 2/27	一般
展	発掘調査速報展	令和元・2年度に行った調査成果を紹介	4/ 1～ 7/11	一般
	大仙市所蔵考古資料展	大仙市で所蔵する遺跡の出土品を紹介	7/31～ 3/31	一般
	あきた埋文 出張展示	能代市周辺の埋蔵文化財～旧石器時代から平安時代～	6/18～ 6/19	一般
		あきた埋文の最前線	7/17～ 8/17	一般
		あきた埋文収蔵資料展－秋田市の縄文から中世－	8/20～ 9/30	一般
		土器に生ける秋の草花展	10/ 2～10/10	一般
		アンダー×ワンダー～県北の考古旅編～	10/ 5～10/15	一般
		あきた遺跡発掘最前線！2021	3/ 4～ 3/15	一般
横手周辺の縄文時代 第1期	7/ 2～ 7/20	小/一般		
横手周辺の縄文時代 第2期	10/25～11/ 1	小/一般		
講演会	講演会	縄文時代の社会と儀礼	10/ 3 *中止	一般
	あきた埋文 考古学セミナー	片貝家ノ下遺跡の古代理没建物	5/22	一般
		あきた埋文の発掘最前線	7/17	一般
		あきた埋文の発掘最前線	10/23 *中止	一般
		発掘でわかった秋田市の原始・古代	10/29	一般
		旅するアクセサリー～弥生時代にみる交流～	11/20	一般
		遺跡からみた秋田の中世	11/26	一般
	発掘でわかった久保田城下	1/21	一般	
	あきた埋文 金曜講座	北前船と笏谷石～福井から来た緑色の石～	6/ 4	一般
		旅するアクセサリー～弥生時代にみる交流～	7/ 2	一般
		文献史料から考える平安時代前期の出羽国	8/ 6	一般
		古代の竪穴建物跡とその構造	11/12	一般
		古代城柵からみた雄勝城	10/ 1	一般
		文献史学からみた古代城柵論	11/ 5	一般
村を守る不思議な神様・秋田の人形道祖神を訪ねる		12/ 3	一般	
縄文時代中期環状集落論		1/ 7	一般	
秋田県内の『末期古墳』について	2/ 4 *中止	一般		
発掘調査報告会	今年度の県内発掘調査成果報告	3/ 5 *中止	一般	
県庁出前講座	発掘調査成果の講座等	通年	一般	
体験教室	オープンラボ	払田柵跡ふるさと体験ワークショップ	7/28	小～一般
		農業科学館オータムフラワーフェスタ	10/30	小～一般
		埋蔵文化財発掘調査報告会体験教室	3/ 5 *中止	小～一般
		各種体験教室	通年	小～一般
払田柵跡関連	払田柵跡の歩き方	7/31	小/親子	
学校	セカンドスクールの利用	センター内・出土品見学、体験学習等	通年	小/中/高
	インターンシップ	出土品整理作業や普及活用事業等の職場体験	5/31～ 6/ 4 7/27～ 7/29	高 高
研修等	博物館実習	考古資料の取り扱い、展示等	9/ 6～ 9/10	大
	教員免許更新講習	施設・出土品見学	*本年度なし	教員
	中堅教員等資質向上研修	施設・出土品見学、出土品整理作業体験等	*本年度なし	教員
貸出	貸し出しキット等	体験キット、映像資料等の貸し出し	通年	学校等
	資料貸し出し	収蔵資料の貸し出し、掲載許可	通年	一般
	レファレンス	県内の埋蔵文化財等に関する質問受付	通年	一般

「\*中止」とある事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止としたもの。

## 2 遺跡現地見学会

安全が確保された遺跡において発掘調査中の適切なタイミングで現地見学会を実施し、調査成果を県民に公開する。

各遺跡で9月に実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い県内でも警戒レベルの引き上げがあり、安全のため実施を見送った。

## 3 展示

### (1) 企画展

	開館時間	見学可能箇所	※は職員の案内によって可能
平日	9:00～16:00	特別展示室・第1収蔵庫(※)・整理室(※)・中央調査班展示室	
土・日・祝日	9:00～16:00	特別展示室	

(休館日：1月1～3日、成人の日、建国記念の日、春分の日、12月28日～31日)

年度ごとにテーマを設定し、当センターの収蔵資料を中心に展示する。

テーマ：「あきた遺跡発掘物語」

期間：令和3年5月1日(土)～令和4年2月27日(日)

会場：埋蔵文化財センター特別展示室 来場者：1,594人

埋蔵文化財センター設立40周年を記念して、旧石器時代から江戸時代まで、これまでに発掘調査した約500か所の遺跡から50遺跡を厳選して、40年の軌跡を紹介。また、「あきた埋文、ただいま研究中！」のコーナーを新たに設け、職員の研究成果を公開した。



展示状況

### (2) あきた埋文発掘調査速報展・大仙市所蔵考古資料展

テーマⅠ：「あきた埋文発掘調査速報展」

期間：令和3年4月1日(木)～令和3年7月11日(日)

テーマⅡ：「大仙市所蔵考古資料展」

期間：令和3年7月31日(土)～令和4年3月31日(木)

会場：埋蔵文化財センター特別展示室

特別展示室の4分の1のスペースを利用してテーマ展示を開催した。テーマⅠとして、令和元・2年度に行った発掘調査成果を紹介する「あきた埋文発掘調査速報展」、テーマⅡとして、大仙市で所蔵する星宮遺跡・上ノ山Ⅱ遺跡の出土品を紹介する「大仙市所蔵考古資料展」を開催した。



展示状況

### (3) あきた埋文出張展示

県内で当センター収蔵遺物やその地域の埋蔵文化財に関する最新情報などを展示する。

「能代市周辺の埋蔵文化財～旧石器時代から平安時代～」

期間：令和3年6月18日（金）～令和3年6月19日（土）

会場：能代市文化会館 中ホール 来場者：301人

市民おもしろ塾の依頼により、能代市周辺で埋蔵文化財センターが発掘調査した旧石器時代から平安時代の遺跡を紹介。展示とあわせて「能代市周辺の埋蔵文化財～旧石器時代から平安時代～」と題して、播摩芳紀氏（能代市教育委員会文化財保護室主席主査）による講演会が6月19日（土）に催された。



展示状況

「あきた埋文の最前線」

期間：令和3年7月17日（土）～令和3年8月17日（火）

会場：県立図書館 特別展示室 来場者：3,520人

埋蔵文化財センターの役割や近年の発掘調査成果について紹介した。遮光器土偶立像もあわせて展示し、立像前で記念写真を撮る姿が多く見られるなど、見学者が多く、夏休み中の親子を中心に人気を博した。県立図書館には、運営等で協力をいただいた。



展示状況

「あきた埋文収蔵資料展～秋田市の縄文から中世～」

期間：令和3年8月20日（金）～令和3年9月30日（木）

会場：秋田市農山村地域活性化センターさとびあ

来場者：404人

秋田市農山村地域活性化センターさとびあとの共催事業として開催した。埋蔵文化財センターで調査を行った縄文時代から中世の遺跡を中心に展示を実施した。秋田市域の縄文時代から中世までの通史的な展示は今まで実施する機会がなく、今回が初めての試みであった。今まで展示する機会が少なかった収蔵の資料を展示公開することで、考古学的成果から秋田市の縄文から中世の歴史について関心や理解を一層高められたと感じる。



松木台Ⅲ遺跡の展示状況



中世の展示状況

「土器に生ける秋の草花展」

期間：令和3年10月2日（土）～令和3年10月10日（日）

会場：県立農業科学館 ホワイエ

来場者：1,676人

農業科学館との連携事業として、農業科学館のボランティアの方々により、センターで所蔵する土器に秋を感じさせる草花を生けて展示した。今年度は縄文時代前期から晩期までの遺跡の中から、池内遺跡（大館市）、中小坂遺跡（小坂町）、堀量遺跡（湯沢市）、高野遺跡（仙北市）、八木遺跡（横手市）、江原嶋1遺跡（横手市）、ヲフキ遺跡（にかほ市）、虫内Ⅰ遺跡（横手市）、前通遺跡（横手市）の出土土器を使用した。来場者からは、土器と草花の美しいアレンジとその見せ方に好評をいただいた。



展示状況

「アンダー×ワンダー～県北の考古旅編～」

期間：令和3年10月5日（火）～令和3年10月15日（金）

会場：アトリエももさだ 市民ギャラリー 来場者：120人

秋田公立美術大学内にあるアトリエももさだの市民ギャラリーにて、埋蔵文化財センターがこれまでに行った池内遺跡や杉沢台遺跡、狐森遺跡等、県北地域の遺跡調査について紹介した。会場での展示は初の試みであったが、近隣住民をはじめ、大学教職員・学生からも好評であった。また、埋蔵文化財センターの活動についても紹介できた。



展示状況

「あきた遺跡発掘最前線！2021」

期間：令和4年3月4日（金）～令和4年3月15日（火）

会場：県立図書館 特別展示室 来場者：1,718人

秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会にあわせ、秋田県教育委員会及び市町村教育委員会、民間団体により今年度発掘調査された遺跡の出土品を展示公開した。従来は報告会当日のみの展示であったが、より多くの方に調査の状況や埋蔵文化財に対する理解を深めてもらうため、報告会前後の期間に設定した。準備や運営にあたり、県立図書館や各市町村及び民間の調査機関に協力をいただいた。



展示状況

「横手周辺の縄文時代」

期間：第1期 令和3年7月2日（金）～令和3年7月20日（火）

第2期 令和3年10月25日（月）～令和3年11月1日（月）

会場：横手市立雄物川小学校 図書室前ホール 来場者：第1期 400人 第2期 550人

学校からの依頼を受け、図書室前ホールの話題図書コーナーに、埋蔵文化財センターで調査した横手市内の遺跡より出土した土器・土偶を展示した。設置後、他学年の児童や教職員が集まり興味を示していた。会期終了後には代表生徒より感謝状を進呈されるなど、好評であった。図書コーナーの縄文時代関連書籍等も合わせて目立つ場所に置き、効果的な学習ができるような工夫も見られた。展示をとおり、埋蔵文化財に対する関心や理解を一層高められたと感じる。



雄物川小学校での展示状況



虫内 I 遺跡出土土偶

#### 4 講演会・講座

##### （1）講演会

当センター主催で年度に1回、県内の考古学に関わる講演会を開催する。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止とした。

##### （2）あきた埋文考古学セミナー

本県の埋蔵文化財への理解を深めるためのセミナーを開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため一部を中止とした。実施したセミナーは次のとおりである。

①「片貝家ノ下遺跡の古代埋没建物」

開催日：令和3年5月22日（土） 会場：北秋田市ふれあいプラザ 参加者：38人

講師：村上義直（埋蔵文化財センター副主幹）

②「あきた埋文の発掘最前線」

開催日：令和3年7月17日（土） 会場：県生涯学習センター 参加者：19人

講師：村上義直（埋蔵文化財センター副主幹）

③「発掘でわかった秋田市の原始・古代」

開催日：令和3年10月29日（金） 会場：秋田市農山村地域活性化センター 参加者：15人

講師：吉川耕太郎（埋蔵文化財センター副主幹）

④「あきた埋文の発掘最前線」



開催日：令和3年10月23日（土） 会場：秋田公立美術大学アトリエももさだ

講師：吉川耕太郎（埋蔵文化財センター副主幹）

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止とした。

⑤「旅するアクセサリー～弥生時代にみる交流～」

開催日：令和3年11月20日（土） 会場：秋田市御所野児童センター 参加者：20人

講師：大上立朗（埋蔵文化財センター文化財主事）

⑥「遺跡からみた秋田の中世」

開催日：令和3年11月26日（金） 会場：秋田市農山村地域活性化センター 参加者：16人

講師：乙戸崇（埋蔵文化財センター文化財主事）

⑦「発掘でわかった久保田城下」

開催日：令和4年1月21日（金） 会場：秋田市農山村地域活性化センター 参加者：13人

講師：宇田川浩一（埋蔵文化財センター副主幹）

### （3）あきた埋文金曜講座

本県の埋蔵文化財への理解を深めるために考古学や歴史学、民俗学などを題材に学ぶ。本年度は、埋蔵文化財センター第1研修室を会場に6月から2月にかけて毎月第1金曜日に開催した。

①「北前船と笏谷石～福井から来た緑色の石～」 開催日：令和3年6月4日（金）

参加者：14人 講師：小山美紀（埋蔵文化財センター文化財主事）

②「旅するアクセサリー～弥生時代にみる交流～」 開催日：令和3年7月2日（金）

参加者：17人 講師：大上立朗（埋蔵文化財センター文化財主事）

③「文献史料から考える平安時代前期の出羽国」 開催日：令和3年8月6日（金）

参加者：19人 講師：谷地薫（弘田柵跡調査事務所文化財主査）

④「古代の竪穴建物跡とその構造」 開催日：令和3年11月12日（金） 参加者：17人

講師：五十嵐祐介氏（男鹿市観光課主席主査）

\*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年9月3日（金）の延期分として実施。

⑤「古代城柵からみた雄勝城」 開催日：令和3年10月1日（金） 参加者：14人

講師：高橋学氏（雄勝城・駅家研究会代表）

⑥「文献史学からみた古代城柵論」 開催日：令和3年11月5日（金） 参加者：20人

講師：高橋一倫氏（大仙市文化財課副主幹）

⑦「村を守る不思議な神様・秋田の人形道祖神を訪ねる」 開催日：令和3年12月3日（金）

参加者：20人 講師：小松和彦氏（郷土史研究家）

⑧「縄文中期環状集落論」 開催日：令和4年1月7日（金） 参加者：18人

講師：谷地薫（弘田柵跡調査事務所文化財主査）

⑨「秋田県内の『末期古墳』について」 開催日：令和4年2月4日（金）

講師：高橋一成（埋蔵文化財センター文化財主査）

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### (4) 埋蔵文化財発掘調査報告会

秋田県教育委員会及び市町村教育委員会、民間団体の実施した発掘調査成果を広く県民に公開し、埋蔵文化財の保護について理解を深めてもらうことを目的に、昭和56年度から発掘調査報告会を開催している。

一昨年、昨年に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場開催は中止としたが、県教育委員会で調査した遺跡の報告については、所内で報告動画を撮影して配信した。また、希望者にはセンター本所と中央調査班にて資料を配布した。報告会に関連した県立図書館での出張展示「あきた遺跡発掘最前線！2021」では、熱心に出土品を観覧する来館者の姿が見られた。

##### 【報告遺跡（動画配信）】

次の報告動画を配信した。

- ・横堀中屋敷遺跡（湯沢市）
- ・茱萸ノ木遺跡（能代市）前編
- ・猫袋遺跡（横手市） 第2次調査の概要

次の報告動画は令和4年度に配信予定である。（令和4年4月7日に配信済み）

- ・赤塚遺跡（湯沢市）
- ・茱萸ノ木遺跡（能代市）後編
- ・史跡払田柵跡第155次調査（大仙市・美郷町）

#### (5) 県庁出前講座

埋蔵文化財センターが受け持つ講座で、秋田の歴史や発掘調査情報を伝えたり、体験活動を行ったりする。

①講座番号：185 講座名：「埋蔵文化財から学ぶ秋田の歴史」 テーマ：「秋田の古代と払田柵跡の発掘調査成果」 開催日：令和3年10月19日（火） 会場：秋田市中心市民サービスセンター（センタース） 参加者：65人 講師：吉川耕太郎（埋蔵文化財センター副主幹）
②講座番号：185 講座名：「埋蔵文化財から学ぶ秋田の歴史」 テーマ：「縄文時代の石器の流通～大仙市協和上ノ山Ⅱ遺跡の最新研究～」 開催日：令和4年3月16日（水） 会場：かみおか嶽雄館（大仙市） 参加者：35人 講師：赤星純平（埋蔵文化財センター文化財主任）

## 5 体験教室

### (1) 主な体験メニューと概要

目的	活動名	主な内容
縄文の暮らしに親しむ	コースターづくり (縄文染め)	様々な縄文文様や土偶などの形にくり抜いた紙型を麻布に被せ、マジックペンで染め付けていくものである。個人のセンスで様々な色合いの作品に仕上がる。
	弓矢体験	竹刀の廃材を利用した竹材に、たこ糸を張って作った弓で、動物がプリントされた的を射る体験である。的には、縄文人が食べていた様々な動物がプリントされ、体験意欲をかき立てる。
	縄文衣装着用体験	麻布で作った縄文衣装を着用して着心地を確かめてみる体験である。
	火起こし体験	火きり杵(棒)と火きり臼(板)を利用した舞いきり法を中心に実施している。発火にいらなくても、成功体験が味わえるよう、①摩擦による発煙、②火だねづくり、③火だねからの発火、という3段階のチャレンジとして取り組んでもらうことにしている。また、もみきり法なども紹介している。
	ミニ土器 レリーフづくり	気軽に施文体験ができるよう、型枠に粘土を埋め込んで作ったミニ土器の表面(半面)を各種原体で施文し、オリジナルな土器レリーフを作るものである。
	縄文原体づくり	縄文土器や土偶に文様を施すための縄文原体を紙ひもで作し、粘土に文様を施してみる体験である。
	石器づくり	珪質頁岩や黒曜石を用いて、原石の打ち割りから矢尻やナイフの仕上げまで参加者のレベルに合わせて体験するものである。
	勾玉づくり	勾玉についての事前レクチャーをしたのち、勾玉キットを用いて製作する体験である。
整理作業のおもしろさを知る	拓本体験	初心者でも安心して体験ができるよう、丈夫な須恵器の破片を利用する。打ち終わった拓本は、乾燥させラミネートする。
	土器復元体験	細かなパーツに分解されたレプリカの土器を文様や割れ口などを手がかりにして組み立て、復元を目指す。

### (2) オープンラボ

一部中止もあったが、依頼者側と内容や新型コロナウイルス感染症拡大防止について打ち合わせを行い、対策を万全に期した上で次のとおり実施した。

体験教室(児童～一般)

開催日: ①令和3年4月2日(金) 会場: 放課後等デイサービスみらいずカレッジ

開催日: ②令和3年5月22日(土) 会場: 秋田市農山村地域活性化センターさとぴあ

- 開催日：③令和3年6月19日（土） 会場：秋田市農山村地域活性化センターさとびあ  
 開催日：④令和3年7月25日（土） 会場：秋田市農山村地域活性化センターさとびあ  
 開催日：⑤令和3年7月28日（火） 会場：さくまろ館  
 開催日：⑥令和3年7月29日（木） 会場：秋田市立桜小学校（中止）  
 開催日：⑦令和3年8月5日（木） 会場：能代市二ツ井図書館  
 開催日：⑧令和3年8月12日（木） 会場：横手市境町公民館（中止）  
 開催日：⑨令和3年9月4日（土） 会場：秋田市農山村地域活性化センターさとびあ  
 （中止）  
 開催日：⑩令和3年9月12日（日） 会場：象潟公民館（中止）  
 開催日：⑪令和3年10月24日（日） 会場：秋田市農山村地域活性化センターさとびあ  
 開催日：⑫令和3年10月30日（土） 会場：秋田県立農業科学館  
 開催日：⑬令和3年11月6日（土） 会場：秋田市農山村地域活性化センターさとびあ  
 開催日：⑭令和3年12月27日（月） 会場：仙北市田沢湖公民館  
 開催日：⑮令和4年1月5日（水） 会場：放課後児童クラブるーてる（認定こども園ルー  
 テル愛児幼稚園）  
 開催日：⑯令和4年3月5日（土） 会場：秋田県生涯学習センター（中止）

参加者：①13人、②14人、③10人、④12人、⑤33人、⑥中止、⑦8人、⑧中止、⑨中止、  
 ⑩中止、⑪11人、⑫42人、⑬11人、⑭9人、⑮42人、⑯中止

内 容：①縄文学習、土器、石器の観察、施紋、コースターづくり ②縄文学習、土器・石  
 器の観察、縄文クッキング ③土器の観察、縄文土器片クッキーづくり ④土器づ  
 くり ⑤火起こし ⑦縄文学習、土器の観察 縄文原体づくり、施紋、土器復元  
 ⑪縄文学習、火起こし、コースターづくり、勾玉づくり ⑫弓矢、コースターづく  
 り ⑬石器づくり ⑭ミニ土器レリーフ、コースターづくり、弓矢 ⑮ミニ土器レ  
 リーフ、コースターづくり、弓矢、土器復元

⑥、⑧、⑨、⑩は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

⑯は発掘調査報告会と同じ会場で埋蔵文化財センターの体験活動を行う予定であつ  
 したが、密閉、密集、密接状態を避けられず、また、参加者や職員の会話の場面も多  
 く、新型コロナウイルスへの感染リスクが高まる恐れがあるため中止とした。

### ①放課後等デイサービスみらいずカレッジ

縄文学習、石器、土器の観察、施文体験、コースターづくりの活動を行った。積極的に発言する参加者も多く、縄文時代について関心の高い子もいて、全体的に良い雰囲気の中で実施できた。特別支援を要する児童・生徒向けのアイテムやメニューが当センターにはないため、今後の課題として、その開発を進めることが必要と感じた。



コースターづくりの様子

### ②さとぴあ体験教室（縄文の食と縄文クッキング講座）

縄文土器や石器を用いながら縄文時代の食について体験を交えて講座を行い、食づくり体験として肉蒸し料理、縄文土器レプリカでの潮汁、縄文クッキー作りを行った。その間、竹の箸作り体験も実施。各ブースで当センター職員もサポートに入った。食を扱う事業は当センター主催だと昨今は厳しい状況であるが、こうした連携事業により、お互いの得意分野を活かしながら事業展開できることを改めて知ることができた。



肉蒸し料理の様子

### ③さとぴあ体験教室（縄文時代講座・縄文土器片クッキーづくり）

縄文時代講座では、特に縄文土器にまつわる話を中心にパワーポイントで行い、県内出土の土器片を実際に手にとって観察してもらった。土器片クッキー作りでは、それら実物を見本として、講師の指導の下、進めた。参加者はいずれも考古学に関心が高い方々で講座中も頻繁に質問があった。



縄文土器片クッキー

### ④さとぴあ体験教室（縄文時代講座・縄文土器づくり）

縄文土器に関する講話の後、陶芸家の森田勇氏を講師に招き、実物の縄文土器を観察しながら土器製作を行った。1か月の乾燥期間を経て、焼成は森田氏が行い、参加者に渡した。参加者は土器を真剣に観察しながら、様々な施文具をつかって思い思いに土器作りに挑戦した。



縄文土器づくりの様子

### ⑤弘田柵跡ふるさと体験ワークショップ

小学校の夏休み期間に合わせ、古代の生活に触れる体験をとおして地域の歴史や現代の生活との違いについて学習する目的で大仙市文化財課とともに開催した。当日は、勾玉づくり、絵馬づくり、蹴鞠、土器パズル、火起こしの体験活動を行った。当センターでは火起こし体験を担当した。雨天にもかかわらず、小学生と保護者が職員にサポートしてもらいながら古代の生活を体験した。



火起こしの体験の様子

### ⑦能代市ニツ井図書館

はじめに、県内出土の土器を実際に手に取って観察する体験や縄文原体づくり・施文体験を行い、参加者は土器の感触や文様に興味・関心を示していた。土器の復元体験では、小学生は保護者と一緒に、中学生以上は一人で作業を行った。はじめは土器片の組み合わせに苦労していたが、土器の文様をじっくり観察しながらだいにコツをつかんでいた。当初の予定時間を過ぎてしまったが、熱心に集中しながら作業に取り組み、復元を完成させていた。



土器復元体験の様子

### ⑩さとぴあ体験教室（勾玉・火起こし体験）

縄文時代について学習したあと、玄関横のピロティーに移動して火起こし体験を行った。子どもたちが舞錐式火起こし器の扱いに不慣れなことで、気温が低いこともあってか、火口に火が付いたのは1家族しかなかったが、すべての家族が火種から煙が上がるころまでは達成できた。その後研修室にて、コースターづくり、勾玉づくりを行った。勾玉づくりは40分では時間が不足し、キットを持ち帰り自宅で続きを行うよう伝えた。研修室中央に土器を展示し、触れる時間も参加者には好評だった。



勾玉づくりの様子

### ⑫秋田県立農業科学館

令和3年度オータムフラワーフェスタ期間中のイベントの一つとして、弓矢体験とコースターづくり体験を行った。弓矢体験は子どもだけでなく、保護者も夢中になって取り組んでいる様子が印象的であった。活動中は混み合うことが少なかったため、弓矢に何度も取り組む子どもが多かった。弓矢が難しい幼児はコースターづくりを行っていた。天気も良く行楽日和だったこともあって満足感のある催しだった。

### ⑬さとびあ体験教室（石器づくり体験）

はじめに、縄文時代や石器の学習を行った。続いて、各自に道具と珪質頁岩原石を選んでもらい、ハンマーストーンで原石をたたいて剥片剥離作業を行った。ある程度剥片ができると、試しに剥片で新聞紙を切ってもらいながら、切れ味の鋭さを体感してもらった。次の段階として、各自の剥がした剥片やセンターから持参した剥片から選んで鹿の角を使った二次加工作業を行った。また、珪質頁岩と比較するために用意した北海道十勝産黒曜石の切れ味を体験してもらった。そこで珪質頁岩と黒曜石の特徴や長所、短所を解説した。作業はたいへんだったと思うが、保護者の協力もあり、予想以上に剥片を取り出すことができた。地道な作業を一つ一つ繰り返しながら、ものづくりが行われていたことを感じてくれたのではないかと思います。また石材にも関心があり、特に黒曜石の剥片をたくさん持って帰る子どももいた。



秋田県立農業科学館 弓矢体験の様子



さとびあ 石器づくり体験の様子

### ⑭仙北市田沢湖公民館

はじめに、縄文時代について土器や石器を見せながら学習した。また、仙北市の潟前遺跡とＪＲ田沢湖駅２階にある「森と遺跡の展示室」についても紹介した。続いて途中休憩を挟みながら、ミニ土器レリーフ・ペンダントづくり、コースターづくり、弓矢体験を行っていった。ミニ土器レリーフとコースターでは複数作成していた。弓矢体験では、はじめは矢が前に飛ばずに苦労していたが、しだいにコツをつかんでいき、遠くまで矢を飛ばしたり的に当てることができるようになり、上達する子どもが多く見られた。活動終了後、持参した狩猟キットの槍や斧を持って写真撮影する家族も見られた。



弓矢体験の様子

### ⑮放課後児童クラブ一てる

参加児童が多く、児童の移動や活動状況把握のため、児童クラブと同じ学校法人児童福音学園が運営する幼稚園を会場にして活動した。センターの仕事や縄文時代について紹介したあと、児童を4つのグループに分けて、ミニ土器レリーフづくり、コースターづくり、弓矢、土器復元の各体験をしてもらった。児童は興味を持って各体験に集中して取り組む様子が見られた。



土器復元体験の様子

### (3) 払田柵跡の歩き方

開催日：令和3年7月31日（土）
会場：埋蔵文化財センター・払田柵跡 参加者：20人
講師：酒井浩氏（森林インストラクター）
吉川耕太郎（埋蔵文化財センター副主幹）

調査成果に基づいて環境復元整備を進めている払田柵跡での自然観察を通じて、平安時代と現代の自然を学び、あわせて調査成果への理解も深めることによって、史跡公園としての払田柵跡に親しんだ。学校の夏休み期間ということもあり、小学生を中心とした親子の参加が目立ち、活況を呈した。



活動の様子

## 6 学校利用・研修等

### (1) セカンドスクールの利用

セカンドスクールの利用は、県教育庁生涯学習課が推進する事業で、教育施設等の人的・物的機能を十分に活用し、学校と教育施設等が一体となって、郷土の自然や文化との触れ合い体験・共同生活体験、各教科や総合的な学習の時間等の取組を複合的に実施する利用方法である。当センターでは、考古資料に様々な形で触れることで社会科、総合学習等をサポートしている。最近では歴史の学習に関する内容のほかに、センターの仕事内容や専門職員になるための進路などキャリア教育に関する内容も扱っている。また、来所しての利用に加え、センター職員が学校に資料等を持参して行う出前授業も増えている。

#### ①利用状況

	小学校	中学校	高等学校	その他	合計
利用件数	22件	2件	3件	1件	28件
利用人数	713名	74名	31名	5名	823名



## ②活動の具体例

縄文時代学習	縄文土器や石器に触れ、用途などを学ぶ。
石器づくり・施文体験	古代の技術を体験することで当時の人々の知恵に学ぶ。
施設見学	特別展示室や整理作業室、収蔵庫で、遺物や整理作業を見学する。
授業サポート	地域の遺跡や文化財の学習を支援する。
出前授業	縄文時代を中心に古代にかけての地域の歴史を扱った。出土品を実際に手に取り、地域の歴史や文化財への興味・関心を深め、その後の歴史学習に対する意欲を高めることを目的としている。

## (2) インターンシップ

期間：5月31日（月）～6月4日（金）	会場：埋蔵文化財センター中央調査班
栗田支援学校高等部3年1人	

埋蔵文化財センターの仕事を経験し、勤労観や職業観を育むことを目的としており、埋蔵文化財センターの仕事に関するレクチャーの後、遺跡出土遺物の洗浄を行った。

期間：7月27日（火）～7月29日（木）	会場：埋蔵文化財センター
大曲工業高校2年3人	

埋蔵文化財保護行政に関する講話のほか、史跡払田柵跡発掘調査現場の見学、遺跡出土遺物の洗浄、土器接合等の整理作業を行った。

## (3) 博物館実習

期間：9月6日（月）～10日（金）
会場：埋蔵文化財センター
盛岡大学文学部4年生1人

埋蔵文化財センターにて、資料の調査や取り扱い等、埋蔵文化財に関する業務を実習し、特別展示室でのテーマ展示の企画立案から資料選別、パネル作成、展示設営までの一連の作業を主担当として行った。



展示状況

## (4) 教員免許更新講習

特別展示室の解説や、本センターの各種「貸し出しキット」の資料、学習教材としての活用を紹介する。本年度の申込みはなかった。

## (5) 中堅教員等資質向上研修

本年度の申込みはなかった。

## 7 貸し出し

### (1) 貸し出しキット等

学校などに教材として活用できる次のキットやDVDの貸し出しを行った。

狩りと漁キット、土器資料キット、調理キット、縄文土器複製キット、竪穴住居キット  
原体・粘土キット、縄文衣装キット、火起こしキット、紹介DVD「ようこそ秋田の古代」

古代体験キット・ビデオの貸し出し実績

	元年度	2年度	3年度
キット貸出数	2件	4件	6件
ビデオ貸出数	0件	0件	1件
火起こし貸出数	2件	1件	3件

(2) 資料貸し出し

掲載資料の貸し出し・掲載許可等実績

	元年度	2年度	3年度
所蔵資料貸出数	35件	26件	18件

今年度の内訳

	使用目的（複数利用含む）		
	展示公開	書籍等掲載	研究他
遺跡出土品	1件	0件	2件
フィルム写真データ	0件	0件	0件
デジタル写真データ	2件	11件	1件
その他	0件	1件	0件

(3) レファレンス

当センターでは県内の埋蔵文化財等に関する質問を受け付けている。令和2年度から質問内容の集計を始めた。今年度、県内外からの問い合わせ件数は次のとおりである。

旧石器時代7件、縄文時代50件、弥生・古墳時代6件、古代23件、中近世11件、考古学一般1件、埋蔵文化財センターに関すること15件、その他照会等49件（合計162件）。

## 第3節 その他の活動

### 1 図書整理・公開

当センターで発刊した報告書等や他県などから送付された報告書等を登録、配架し、図書の利用環境を整備した。

#### (1) 全国遺跡報告総覧への公開

秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第26、27、29、31～35号

遺跡詳細分布調査報告書（竜毛沢Ⅳ遺跡、竜毛沢Ⅴ遺跡、山口遺跡、北ノ又沢Ⅱ遺跡、北ノ又沢Ⅲ遺跡、ヲフキ遺跡、大南遺跡、堂ノ前遺跡、片貝家ノ下遺跡）

#### (2) 秋田県立図書館「デジタルアーカイブ」への一般公開

令和2年度企画展パンフレット

平成29年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料

平成30年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料

令和元年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料

### 2 刊行物

遺跡名	代官小路遺跡	発掘調査年	2年度	発行年月	4年3月
書名	秋田県文化財調査報告書第523集 代官小路遺跡－地方街路交付金事業（停車場栄町線：裏尾崎町）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－				
内容	遺跡の時代	平安時代 江戸時代 大正～昭和時代			
	遺跡の性格	散布地 城下町			
	検出遺構	江戸時代：土坑6基 溝跡1条 大正～昭和時代：土坑1基 時期不明：性格不明遺構1基			
	出土遺物	平安時代：土師器、須恵器 江戸時代：陶磁器、木製品、土製品、石製品、金属製品 大正～昭和時代：陶器、木製品、金属製品、ガラス製品			

遺跡名	峰吉川中村遺跡	発掘調査年	2年度	発行年月	4年3月
書名	秋田県文化財調査報告書第524集 峰吉川中村遺跡（第2次）－雄物川上流河川改修事業（中村芦沢地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－				
内容	遺跡の時代	平安時代 中世 近世			
	遺跡の性格	集落跡			
	検出遺構	平安時代：竪穴状遺構1基 溝跡1条 中世：井戸跡6基 カマド状遺構3基 溝跡1条 土坑7基 柱穴様ピット2基 近世：土坑2基 時期不明：土坑10基 柱穴様ピット43基			
	出土遺物	縄文時代：縄文土器 平安時代：土師器 須恵器 中世：中国磁器（青磁） 須恵器系陶器 瓷器系陶器 石製品（茶臼） 木製品（箸） 鉄関連遺物 近世：近世陶磁器			

書名	秋田県文化財調査報告書第525集 遺跡詳細分布調査報告書	発掘調査年	3年度	発行年月	4年3月
内容	令和3年度に実施した遺跡分布調査と遺跡確認調査の報告。				

書名	秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第36号 創立40周年記念号	発行年月	4年3月
内容	<p>論考</p> <p>森谷康平 秋田県における複式炉と支柱穴数・竪穴建物床面積について</p> <p>谷地薫 湯沢市堀量遺跡竪穴住居跡群の再検討</p> <p>赤星純平・中村由克氏 縄文時代後期における磨製石斧の形態と石材利用 －横手市八木遺跡の事例を中心に－</p> <p>宇田川浩一 弘田柵跡で九章算術－城柵設計の数学－</p> <p>研究ノート</p> <p>吉川耕太郎 なぜ石器は集積されたのか －秋田県の石器集積遺構理解のための一試論－</p> <p>大上立朗 秋田県内出土アメリカ式石鏃の研究</p> <p>磯村亨 中世堂の下遺跡の製鉄関連遺構・遺物の検証（1）</p> <p>資料紹介</p> <p>小松和平 大仙市星宮遺跡未報告資料の検討（2）</p> <p>小山美紀 男鹿市祓川Ⅰ遺跡出土の須恵器系壺</p> <p>高橋和成 大仙市南外甕コ沢窯跡採集の須恵器系陶器</p> <p>乙戸崇 秋田市東根小屋町遺跡出土「極上高嶋虎班石」銘碇について</p> <p>研究紀要総目録</p>		

書名	あきた遺跡発掘物語－時代を追う、あきた埋文40年の軌跡－	発行年月	3年8月
内容	令和3年5月から令和4年2月まで開催の秋田県埋蔵文化財センター令和3年度企画展のパンフレット。秋田県埋蔵文化財センター設立から40年間の軌跡をたどり、これまで実施してきた発掘調査の成果について時代毎に主な遺跡を取り上げ、その出土品を紹介。A4判カラー16頁。		

書名	令和3年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料	発行年月	4年2月
内容	令和4年3月5日に秋田市で開催する予定であった令和3年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会の配付資料。令和3年度に県内で発掘調査された遺跡のうち、主要な遺跡の発掘調査成果について、カラー写真と平易な文章で紹介。県内発掘調査遺跡一覧表と遺跡位置図、年表も掲載。A4版カラー38頁。		

### 3 講演・研究論文等

令和3年5月

〈講演〉村上義直『片貝家ノ下遺跡の古代埋没建物』 鷹巣地方史研究会 秋田県文化財保護協会鷹巣支部

令和3年6月

〈論文〉小山美紀「秋田県出土の越前窯製品-出羽北部における流通圏の推移-」『福井県陶芸館開館50周年記念特別展前期 ECHIZEN BRAND 資料集』 福井県陶芸館

令和3年9月

〈論文〉小山美紀「出羽国における近年出土の貿易陶磁－中世前期を中心に－」『貿易陶磁研究』  
第41号 日本貿易陶磁研究会

令和3年10月

〈論文紹介〉村上義直「論文展望（「平安時代の十和田火山噴火と古代埋没建物－片貝家ノ下遺跡を中心  
に－」『出羽路 第161号』）『季刊考古学』第157号 雄山閣

〈要旨〉高橋和成「末期古墳の被葬者からみら古代北奥社会－秋田の事例を中心に－」『博古研究  
特集 2019年度博古研究会研究大会「北奥蝦夷の社会と文化」』第61号

令和3年12月

〈論文〉小山美紀「秋田県の笏谷石製品－分布と傾向－」『秋田考古学』第64号 秋田県考古学会

〈論文〉Kōtarō Yoshikawa (吉川耕太郎) 「Chronologie du Paléolithique supérieur dans le Nord-  
Est de la principale île du Japon (Chronology of the Upper Paleolithic in North-East of  
main island of Japan)」『L'anthropologie Paléolithique du Japon』vol.125, Issue5

〈論文〉小松和平「横手盆地南部における縄文時代前期の土器様相－臼館跡からみる大木2b～3式土器－」  
『秋田考古学』第64・65合併号 秋田考古学協会

令和4年1月

〈発表・資料〉小山美紀「秋田県出土の越前窯製品－出羽北部における流通圏の推移－」『越前焼フ  
ォーラム』

令和4年2月

〈資料〉小山美紀「出羽北部の様相－秋田城跡と払田柵跡を中心に－」『第48回古代城柵官衙遺跡検  
討会－資料集－』古代城柵官衙遺跡検討会

〈発表〉大上立朗「北へ旅したビーズ」『新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定事業 シンポジ  
ウム「ビーズがつなぐ弥生時代の佐渡と地域」』

令和4年3月

〈論文〉小山美紀「出羽北部の笏谷石製品」『中世・近世における石のまちづくり調査研究報告書』  
奈良文化財研究所 福井・勝山日本遺産活用推進協議会

#### 4 職員研修会

今年度は、重点目標の一つに掲げられた「よき公務員、よき社会人、よき人間」となることを目標に職員研修を計画・運営した。人材の育成は今後のセンター経営上の課題となる。技術研修会も発掘調査現場の協力により実施し、担当外の遺跡の調査状況を確認できたり、遺構について職員間の意見交換が進むなど、有意義な研修ができた。また、地域の遺跡を知る機会にもなった。今後も本調査が継続的に実施されることから、職員間でさらに連携を取りながら計画・運用することが求められる。

##### (1) 新任職員研修

- ①目的 秋田県内の埋蔵文化財行政を担当する職員に対して、業務を行う上で必要な基礎的知識についての研修を行い、埋蔵文化財行政の円滑な運営に資する。
- ②期間 令和3年4月5日(月)～令和3年4月9日(金)
- ③場所 埋蔵文化財センター
- ④対象 新任職員

##### (2) アンガーマネジメント研修

- ①目的 一人一人が持つ怒り(イライラ)を認知して、その処理や表現の仕方を工夫・改善しながら不機嫌でない職場をめざす。
- ②期日 令和3年6月25日(金)
- ③場所 埋蔵文化財センター・埋蔵文化財センター中央調査班
- ④研修内容
  - 1 なぜアンガーマネジメント研修なのか
  - 2 「怒り」について
  - 3 アンガーマネジメントの実際

##### (3) 職員技術研修会

- ①目的 埋蔵文化財発掘調査に関する知識・技術について、発掘調査現場等で実地研修を行い、埋蔵文化財担当職員の技術・技能の向上を図る。
- ②期日 令和3年9月10日(金)
- ③場所 横堀中屋敷遺跡発掘調査現場(湯沢市) 赤塚遺跡発掘調査現場(湯沢市)  
館堀城跡(湯沢市) 史跡岩井堂洞窟遺跡(湯沢市)
- ④研修内容 沖積地に立地する縄文時代の遺跡の見学(横堀中屋敷遺跡、赤塚遺跡)  
旧河道と遺構の位置関係、遺跡内の堆積土の特徴、遺構埋土の特徴 遺跡の特徴等  
過去に調査が行われた遺跡の見学(館堀城跡と史跡岩井堂洞窟遺跡)  
発掘調査成果と現況、出土遺物の特徴、学史を踏まえた国指定史跡に至るまでの経緯等

##### (4) 文書管理システム操作研修会

- ①目的 文書管理システムによる起案処理等の文書管理移行について、システムの操作のしかたを学ぶ。
- ②期日 令和3年11月26日(金)・令和3年12月16日(木)
- ③場所 埋蔵文化財センター・埋蔵文化財センター中央調査班

④研修内容 職員事務ポータルにある文書管理システムを実際に操作して研修した。

**(5) 久保田城跡出土木製品材種同定研修**

①目的 秋田県から出土する材種のほぼ8割を占めるスギを同定できる能力を身につけ、自然科学分析を外部に委託する際の試料選別を効率的に行うことが出来るようになることを目的とする。また、他の材種についてもある程度の当たりがつけられるようになることが望ましい。

②期 日 令和3年12月14日(火)

③場 所 埋蔵文化財センター中央調査班

④研修内容 植物の材種同定について サンプル採取 剥片作成と検鏡

**(6) ストレスに負けない食事**

①目的 体の健康維持という視点だけではなく、心の健康維持にも食事が関係しているということを再認識し、今後の食生活を考えていく契機とする。

②日 時 令和3年12月24日(金)

③場 所 埋蔵文化財センター

④講 師 公立学校共済組合東北中央病院 管理栄養士 佐藤美華氏

⑤研修内容 講話「ストレスに負けない食事」

**(7) 防災・避難訓練、交通安全講話**

実施日：令和3年5月26日(防災・避難訓練／中央調査班 栗田支援学校合同)

実施日：令和3年11月25日(交通安全講話／中央調査班)

**(8) 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会北海道・東北ブロック会議**

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として書面での開催とした。

## 第4節 40周年記念事業

秋田県埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査、研究、出土品の整理及び収蔵を目的として、昭和56年10月に設立し、県内における埋蔵文化財の保護と活用に関する中心的な役割を担っている。今年度40周年を迎え、実行委員会を中心に記念事業を行っている。

### (1) 記念式典

令和4年3月に記念式典をセンター第1研修室にて実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止とした。

### (2) 企画展示

「あきた遺跡発掘物語」として、令和3年5月1日（土）から令和4年2月27日（日）まで、特別展示室にて展示した。

### (3) 連載コラム

秋田魁新報社の文化欄に毎週水曜日（最終週を除く）に埋蔵文化財センターで発掘調査した遺跡や研究成果を紹介するコラム「土に聴け あきた埋文40年リレーコラム」を連載している（初回掲載日：令和3年4月7日）。執筆は埋蔵文化財センター職員が担当した。

### (4) 記念グッズ等

ロゴマークを作成し、封筒に印刷した。

### (5) あゆみ（平成22年度から令和2年度まで）

センター設立から30年までのあゆみは、「秋田県埋蔵文化財センター三十年小史」にまとめられている。ここでは、その後のあゆみを年度ごとに記載する。

#### 平成22年度

- 5月17日 北秋田市中小又遺跡確認調査開始（～5月21日）
- 24日 仙北市月見堂館跡発掘調査開始（～7月14日）
- 29日 第1回企画展『発掘「秋田の中世」』（～9月26日）
- 6月1日 にかほ市家ノ浦遺跡発掘調査開始（～8月2日）
- 14日 秋田市黒沼下堤下館跡発掘調査開始（～10月15日）
- 15日 湯沢市白館跡発掘調査開始（～9月30日）
- 16日 にかほ市家ノ浦遺跡現場見学会
- 7月1日 秋田市に中央調査班移転
- 5日 にかほ市横枕遺跡調査開始（～11月5日）
- 秋田県甘肅省文化交流事業秋田県交流員 谷地薫主任学芸主事甘肅省へ出発
- 6日 第1回埋蔵文化財センター運営協議会（秋田県埋蔵文化財センター）
- 10日 第1回ふるさと考古学セミナー「館堀城跡の発掘調査」（湯沢生涯学習センター）
- 26日 大仙市北檜岡中野遺跡調査開始（～11月19日）
- 8月3日 にかほ市前田表遺跡調査開始（～9月29日）
- 7日 第2回ふるさと考古学セミナー「秋田の中世窯業」（秋田県埋蔵文化財センター）
- 9月11日 湯沢市白館跡現場見学会
- 12日 第1回企画展講演会（秋田県生涯学習センター分館ジョイナス）
- 13日 秋田市龔学校遺跡確認調査（～9月28日）
- 10月1日 秋田県甘肅省文化交流事業秋田県交流員 谷地薫主任学芸主事甘肅省から帰国
- 2日 秋田市黒沼下堤下館跡遺跡現場見学会
- 18日 にかほ市家ノ浦Ⅱ遺跡確認調査（～10月22日）
- 21日 秋田県甘肅省文化交流事業甘肅省交流員呉菘副研究員入国



- 24日 北秋田市藤株遺跡確認調査（～11月11日）
- 25日 にかほ市阿部館遺跡確認調査（～11月8日）
- 11月 9日 にかほ市六日市遺跡確認調査（～11月11日）
- 北秋田市ハケノ下遺跡確認調査（～11月11日）
- 15日 北秋田市米内沢城跡確認調査（～11月19日）
- 12月 6日 第2回企画展「縄文土器の北南一と変われば品変わる」(～3月31日)
- 17日 秋田県甘肅省文化交流事業甘肅省交流員 呉菘副研究員 帰国
- 26日 第3回ふるさと考古学セミナー「烏野遺跡をめぐって」(能代市中央公民館)

【平成23年】

- 1月30日 第2回企画展講演会＋座談会「縄文土器の北南一と変われば品変わる」  
(大仙市大曲中央公民館)
- 2月25日 第2回埋蔵文化財センター運営協議会(秋田県埋蔵文化財センター)
- 3月13日 平成22年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会(秋田県生涯学習センター) 中止

平成23年度

- 5月8日 秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会－平成22年度発掘調査成果－(秋田県生涯学習センター)
- 5月14日 第1回ふるさと考古学セミナー「環状列石の時代」(大館市立中央公民館)
- 16日 にかほ市清水尻Ⅰ・Ⅱ遺跡確認調査開始(～5月31日)
- 19日 にかほ市阿部館遺跡発掘調査開始(～7月29日)
- 6月1日 にかほ市家ノ浦Ⅱ遺跡発掘調査開始(～9月7日)
- 6日 にかほ市横枕遺跡発掘調査開始(～10月28日)
- 8日 第1回埋蔵文化財センター運営協議会(秋田県埋蔵文化財センター)
- にかほ市清水尻Ⅱ遺跡発掘調査開始(～11月30日)
- 18日 企画展「漆下遺跡～環状列石とその時代～」(平成24年3月31日)
- 20日 にかほ市清水尻Ⅰ遺跡発掘調査開始(～7月22日)
- 大仙市北檜岡中野遺跡発掘調査開始(～8月8日)
- 25日 第2回ふるさと考古学セミナー「ここまでわかった奈良・平安時代」(秋田県埋蔵文化財センター)
- 27日 仙北市高野遺跡発掘調査開始(～8月26日)
- 7月6日 北秋田市ハケノ下Ⅱ遺跡確認調査開始(～7月22日)
- 24日 にかほ市阿部館遺跡遺跡見学会
- 8月6日 仙北市高野遺跡見学会
- 8日 にかほ市六日市遺跡発掘調査開始(～9月28日)
- 29日 職員技術研修会(にかほ市発掘現場)
- 9月11日 企画展講演会＋座談会「漆下遺跡が語る縄文社会」(大仙市大曲中央公民館)
- 12日 北秋田市ハケノ下遺跡発掘調査開始(～11月25日)
- 大仙市払田柵跡第143次発掘調査開始(～12月8日)
- 28日 秋田市旧秋田県立聾学校遺跡発掘調査開始(～11月30日)
- 10月15日 第3回ふるさと考古学セミナー「中世群雄割拠の時代」(秋田県立博物館)
- 11月12日 にかほ市清水尻Ⅱ遺跡見学会
- 14日 大仙市船戸遺跡確認調査開始(～11月28日)

【平成24年】

- 2月7日 第2回埋蔵文化財センター運営協議会(秋田県埋蔵文化財センター)
- 2月26日 平成23年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会(秋田県生涯学習センター)

平成24年度

- 5月14日 大仙市船戸遺跡調査開始(～8月10日)
- 24日 大仙市十二袋遺跡確認調査開始(～5月30日)
- 30日 大仙市大川道端道ノ上遺跡確認調査開始(～6月8日)

- 6月4日 北秋田市ハケノ下Ⅱ遺跡発掘調査開始（～10月9日）、北秋田市藤株遺跡（B区）発掘調査開始（～10月30日）
- 9日 企画展「一千二百年前の八郎湖岸開拓－小谷地遺跡の灌漑堰－」（～平成25年3月31日）
- 18日 北秋田市藤株遺跡（A区）発掘調査開始（～10月17日）
- 23日 第1回ふるさと考古学セミナー「日本海沿岸古代の道」（仁賀保勤労青少年ホーム）
- 25日 第1回埋蔵文化財センター運営協議会（秋田県埋蔵文化財センター）
- 22日 第2回ふるさと考古学セミナー「黎明期の秋田考古学」（秋田県立図書館）
- 28日 大仙市船戸遺跡見学会
- 8月20日 大仙市払田柵跡第145次発掘調査開始（～11月6日）
- 24日 平成24年度埋蔵文化財センター職員技術研修会（藤株遺跡）
- 9月16日 北秋田市ハケノ下Ⅱ遺跡見学会
- 23日 企画展講演会＋座談会「小谷地遺跡の灌漑堰」（大仙市仙北ふれあい文化センター）
- 9月29日 北秋田市藤株遺跡見学会
- 10月22日 大仙市峰吉川中村遺跡確認調査開始（～11月2日）

【平成25年】

- 1月24日 第2回埋蔵文化財センター職員技術研修会（埋蔵文化財センター中央調査班）
- 2月18日 第2回埋蔵文化財センター運営協議会（秋田県埋蔵文化財センター）
- 24日 平成24年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会（秋田県生涯学習センター）

平成25年度

- 6月12日 第1回埋蔵文化財センター運営協議会（秋田県埋蔵文化財センター）
- 17日 大仙市大川道端道ノ上遺跡発掘調査開始（～10月17日）
- 19日 八郎潟町貝保遺跡確認調査開始（～6月28日）
- 24日 大仙市西板戸遺跡確認調査開始（～6月28日）
- 7月7日 企画展「蝦夷と俘囚－古代の秋田人－」（～平成26年3月31日）
- 21日 第1回ふるさと考古学セミナー「土偶ユニバース」（秋田県立博物館）
- 8月11日 第2回ふるさと考古学セミナー「クマと土偶とシャマンと」（秋田県立図書館）
- 23日 埋蔵文化財センター職員技術研修会（大川道端ノ上遺跡）
- 9月2日 八郎潟町貝保遺跡発掘調査開始（～10月29日）
- 9日 教育公安委員会払田柵跡視察
- 14日 企画展講演会＋座談会「エミシー俘囚－エゾ」（秋田市文化会館小ホール）
- 10月7日 払田柵跡第147次発掘調査開始（～11月22日）
- 12日 大仙市大川道端ノ上遺跡見学会
- 15日 北秋田市小勝田館跡確認調査開始（11月5日）
- 19日 第3回ふるさと考古学セミナー「縄文前期の社会」（能代市中央公民館）
- 21日 東成瀬村トクラ遺跡確認調査開始（～11月1日）
- 26日 八郎潟町貝保遺跡見学会
- 11日 史跡払田柵跡調査指導委員会
- 16日 第4回ふるさと考古学セミナー「末期古墳の西東」（秋田県立博物館）

【平成26年】

- 2月5日 第2回埋蔵文化財センター運営協議会（秋田県埋蔵文化財センター）
- 3月9日 平成25年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会（秋田県生涯学習センター）

平成26年度

- 5月19日 大仙市西板戸遺跡調査開始（～9月9日）
- 6月9日 大仙市峰吉川中村遺跡調査開始（～9月19日）
- 北秋田市小勝田館跡調査開始（～11月7日）
- 18日 第1回埋蔵文化財センター運営協議会（秋田県埋蔵文化財センター）
- 7月6日 第1回ふるさと考古学セミナー「縄文前期の北と南」（秋田県立図書館）

- 7月25日 埋蔵文化財センター職員技術研修会（峰吉川中村遺跡）
- 8月28日 南外小学校発掘調査見学（大仙市西板戸遺跡）
- 30日 大仙市峰吉川中村遺跡見学会
- 9月1日 企画展「払田柵跡ー巨大城柵の実像に迫るー」（～平成27年3月1日）
- 7日 払田柵跡調査40周年記念講演会（大仙市仙北ふれあい文化センター）
- 13日 第2回ふるさと考古学セミナー「池内遺跡をめぐって」
- 27日 北秋田市小勝田館跡現地見学会
- 29日 八郎潟町貝保遺跡発掘調査開始（～10月10日）、東成瀬村トクラ遺跡確認調査（～10月10日）
- 10月14日 大館市片貝遺跡確認調査（～11月12日）
- 18日 ふるさと考古学セミナー「古代のにかほ」（仁賀保公民館）
- 11月1日 藤株遺跡地域報告会（北秋田市沢口公民館）

【平成27年】

- 2月18日 第2回埋蔵文化財センター運営協議会（秋田県埋蔵文化財センター）
- 3月8日 平成26年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会（秋田県生涯学習センター）

平成27年度

- 4月1日 企画展「横手盆地の三万年」第Ⅰ期「横手市神谷地遺跡の縄文文化」（～6月21日）
- 5月28日 平成27年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会役員会・総会（～5月29日：秋田市）
- 6月1日 東成瀬村トクラ遺跡確認調査開始（～6月12日）、大館市片貝遺跡発掘調査開始（～10月23日）
- 15日 東成瀬村トクラ遺跡発掘調査開始（～10月29日）
- 18日 第1回埋蔵文化財センター運営協議会（秋田県埋蔵文化財センター）
- 24日 由利本荘市上谷地遺跡発掘調査開始（～8月12日）
- 7月4日 企画展「横手盆地の三万年」第Ⅱ期「雄物川中・上流域の景観を復元する」（～平成28年3月6日）
- 25日 第1回ふるさと考古学セミナー「大仙・横手の縄文文化」（秋田県埋蔵文化財センター）
- 8月1日 大館市片貝遺跡見学会
- 21日 埋蔵文化財センター職員技術研修会（片貝遺跡、大館郷土博物館）
- 9月6日 講演会「縄文・弥生の道、古代の道」（秋田県生涯学習センター）
- 12日 第2回ふるさと考古学セミナー「横手盆地の須恵器生産」（秋田県立近代美術館）
- 29日 大館市片貝家ノ下遺跡確認調査開始（～10月30日）
- 10月17日 第3回ふるさと考古学セミナー「湯沢・雄勝の縄文文化」（湯沢生涯学習センター）
- 11月4日 大館市片貝家ノ下遺跡確認調査延期（～11月24日）
- 5日 秋田市新波遺跡確認調査開始（～11月13日）
- 6日 秋田大学COC事業発表会（秋田県埋蔵文化財センター）
- 14日 大館市片貝家ノ下遺跡見学会（～11月15日）

【平成28年】

- 2月9日 第2回埋蔵文化財センター運営協議会（秋田県埋蔵文化財センター）
- 2月14日 講演会「十和田火山泥流と片貝家ノ下遺跡」（大館市民文化会館）
- 3月13日 平成27年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会（秋田県生涯学習センター）

平成28年度

- 4月9日 企画展「罫田の原風景」第Ⅰ期「考古学で巡る鳥海山麓、にかほと由利本荘」（～8月28日）
- 5月16日 大館市片貝遺跡調査開始（～9月9日）、東成瀬村トクラ遺跡調査開始（～10月28日）
- 6月15日 第1回埋蔵文化財センター運営協議会（秋田県埋蔵文化財センター）
- 6月20日 五城目町町村Ⅱ・町村Ⅲ遺跡確認調査開始（～7月4日）
- 7月4日 由利本荘市堤沢山遺跡第2次調査開始（～8月26日）

- 7月29日 平成28年度秋田県埋蔵文化財職員技術研修会「学術調査の方法と応用」(大仙市払田柵跡第150次調査現場)
- 7月30日 第1回あきた埋文考古学セミナー「縄文時代は平等な社会か?否か?—秋田市地方遺跡からみた縄文時代晩期の社会構造」(秋田県立図書館)
- 8月6日 大館市片貝遺跡見学会
- 9月3日 企画展『鱒田の原風景』第Ⅱ期「考古学で巡る秋田・男鹿・八郎潟周辺」(～平成29年3月12日)
- 9月4日 講演会「秋田県埋蔵文化財センター開設35周年記念講演会」(秋田県庁第二庁舎)
- 9月7日 平成28年度埋蔵文化財担当職員等講習会(文化庁主催、秋田市アルヴェ、～9月9日)
- 9月9日 五城目町町村Ⅱ遺跡調査開始(～11月28日)
- 9月15日 由利本荘市坪瀨遺跡確認調査
- 9月17日 第2回あきた埋文考古学セミナー「鳥海山麓、日本海沿岸部の縄文文化—縄文時代の由利本荘市と遊佐町—」(由利本荘市文化交流館カダーレ)
- 10月9日 東成瀬村トクラ遺跡見学会
- 10月13日 潟上市手の上遺跡確認調査
- 10月17日 能代市茱萸ノ木遺跡確認調査(～11月2日)
- 10月18日 大館市片貝家ノ下遺跡確認調査(～11月17日)
- 10月22日 第3回あきた埋文考古学セミナー「小谷地埋没家屋とは何だったのか?」(男鹿市ジオパーク学習センター)
- 11月13日 大館市片貝家ノ下遺跡見学会
- 11月15日 秋田市大巻Ⅰ・大巻Ⅱ遺跡確認調査(～12月7日)
- 11月28日 五城目町町村Ⅱ遺跡現地公開

【平成29年】

- 2月1日 「国際教養大学文化遺産フォーラム2017」にて片貝家ノ下遺跡の調査成果発表
- 2月8日 第2回埋蔵文化財センター運営協議会(秋田県埋蔵文化財センター)
- 3月2日 あきた埋文出張展示「時をかける～片貝家ノ下遺跡×栗田の縄文プロジェクト～」(秋田県立美術館、～3月7日)
- 3月12日 平成28年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会(秋田県生涯学習センター)
- 3月14日 平成28年度秋田県内発掘調査成果展(秋田県生涯学習センター、～4月11日)

平成29年度

- 4月8日 本所展示室常設展リニューアル、平成29年度あきた埋文収蔵資料展開幕(～5月21日)
- 5月29日 潟上市手の上遺跡調査開始(～7月21日)
- 6月3日 企画展「米代川流域の考古学」第Ⅰ期「米代川流域の縄文文化」開幕(～9月10日)
- 6月14日 第1回埋蔵文化財センター運営協議会(秋田県埋蔵文化財センター)
- 7月1日 潟上市手の上遺跡見学会
- 7月18日 由利本荘市堤沢山遺跡調査開始(～9月27日)
- 7月22日 第1回あきた埋文考古学セミナー「ここまで変わった?!秋田の中世～八郎潟・男鹿周辺の中世遺跡が語ること～」(秋田県立図書館)
- 7月28日 第1回職員技術研修会(大仙市払田柵跡第151次調査現場)
- 9月3日 講演会「アイヌと蝦夷」(秋田県生涯学習センター)
- 9月16日 第2回あきた埋文考古学セミナー「出土品が語る鳥海山麓の縄文文化～にかほと遊佐～」(にかほ市仁賀保公民館)
- 9月19日 由利本荘市オノ神遺跡確認調査(～9月29日)
- 9月23日 企画展「米代川流域の考古学」第Ⅱ期「米代川流域の古代社会」(～平成30年2月25日)
- 10月25日 にかほ市上岩台遺跡確認調査(～11月7日)
- 10月27日 第2回職員技術研修会「木製遺物の取り扱いについて」(秋田県埋蔵文化財センター中央調査班、秋田市立秋田城跡歴史資料館)
- 10月28日 第3回あきた埋文考古学セミナー「米代川流域の縄文文化with大館の高校生による発掘活

動」(大館郷土博物館)

11月1日 大館市片貝家ノ下遺跡確認調査(レーダー探査、～11月2日)

【平成30年】

2月8日 第2回埋蔵文化財センター運営協議会(秋田県埋蔵文化財センター)

3月11日 平成29年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会(秋田県生涯学習センター)

3月13日 平成29年度秋田県内遺跡発掘調査成果展(秋田県生涯学習センター、～4月8日)

平成30年度

4月28日 企画展「ザ・ミニコラム～埋文職員おすすめ 秋田の宝～」(～平成31年2月24日)

5月19日 第1回あきた埋文考古学セミナー「古代のタイムカプセル～片貝家ノ下遺跡が語ること～」(大館郷土博物館)

5月28日 秋田市向田表遺跡確認調査開始(～6月1日)

6月4日 秋田市久保田城跡発掘調査開始(～12月14日)

6月14日 第1回埋蔵文化財センター運営協議会(秋田県埋蔵文化財センター)

6月17日 講演会「払田柵跡と秋田の古代世界」①(秋田県立博物館)

6月19日 大館市片貝家ノ下遺跡レーダー探査(～6月20日)

7月6日 能代市高埴遺跡確認調査(～7月9日)

7月17日 にかほ市神田遺跡確認調査(～7月31日)

7月21日 第2回あきた埋文考古学セミナー「世界遺産・平泉の景観を創出した源泉を求めて」(秋田県立図書館)

7月27日 第1回職員技術研修会(大仙市払田柵跡第152次調査現場)

9月25日 湯沢市赤塚遺跡確認調査(～10月4日)

10月20日 講演会「払田柵跡と秋田の古代世界」②(大仙市さくまる館)

11月18日 講演会「払田柵跡と秋田の古代世界」③(美郷町中央ふれあい館)

【平成31年】

2月5日 第2回埋蔵文化財センター運営協議会(秋田県埋蔵文化財センター)

3月9日 平成30年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会(秋田県生涯学習センター)

3月12日 平成30年度秋田県内遺跡発掘調査成果展(秋田県生涯学習センター、～4月7日)

平成31・令和元年度

4月27日 企画展「蔵出し!秋田の縄文」(～令和2年2月23日)

4月30日 退位の日

【令和元年】

5月1日 即位の日

5月8日 能代市烏野上岱遺跡確認調査(～21日)

5月18日 秋田市久保田城跡見学会

6月15日 第1回あきた埋文考古学セミナー「火内村はどこにあったのか?～片貝家ノ下遺跡と大館の古代社会～」(大館郷土博物館)

6月17日 能代市茱萸ノ木遺跡(能代市二ツ井町)発掘調査開始(～10月7日)

6月18日 第1回埋蔵文化財センター運営協議会(秋田県埋蔵文化財センター)

7月1日 由利本荘市オノ神遺跡発掘調査開始(～10月2日)

7月13日 第2回あきた埋文考古学セミナー「環状列石考」(秋田県立図書館)

7月22日 湯沢市横堀中屋敷遺跡確認調査開始(～8月2日)

7月26日 秋田市久保田城跡発掘調査終了

8月5日 湯沢市赤塚遺跡発掘調査開始(～11月15日)

9月1日 第3回あきた埋文考古学セミナー「土器から読みとる縄文人の心」(湯沢生涯学習センター)

9月3日 能代市烏野上岱遺跡発掘調査開始(～11月6日)

9月14日 能代市茱萸ノ木遺跡現地見学会

- 9月21日 由利本荘市才ノ神遺跡現地見学会
- 9月23日 埋蔵文化財センター講演会「環状列石を世界へ！」(秋田市にぎわい交流館AU)
- 10月16日 甘肅省交流員研修葛雅莉氏(～10月17日)
- 11月12日 三内丸山遺跡活用課視察(茱萸ノ木遺跡)
- 11月16日 第4回あきた埋文考古学セミナー「芸術の<時層>を旅する～芸術人類学の視点から～」  
(由利本荘市文化交流館カダーレ)

【令和2年】

- 2月6日 第2回埋蔵文化財センター運営協議会(秋田県埋蔵文化財センター)
- 3月14日 令和元年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会(秋田県生涯学習センター)、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 併せて秋田県内遺跡発掘調査成果展も中止

令和2年度

- 4月16日 特別展示室公開休止(新型コロナウイルス感染拡大防止対策)
- 4月19日 湯沢市山口遺跡確認調査(～5月25日)  
能代市竜毛沢Ⅳ・Ⅴ遺跡確認調査(～5月15日)  
能代市烏野上岱遺跡(～5月24日)、にかほ市神田遺跡(～5月24日)表土除去
- 5月30日 企画展「あきた縄文石器への旅」(～令和3年2月28日)
- 6月1日 能代市茱萸ノ木遺跡(～10月30日)、能代市烏野上岱遺跡(～8月26日)、にかほ市神田遺跡(～9月29日)発掘調査開始
- 6月2日 由利本荘市才ノ神遺跡発掘調査開始(～9月15日)
- 6月16日 湯沢市横堀中屋敷発掘調査開始(～10月29日)
- 7月6日 由利本荘市代官小路発掘調査開始(～7月17日)
- 9月1日 大仙市峰吉川中村遺跡発掘調査開始(～10月30日)
- 9月23日 由利本荘市才ノ神遺跡現地見学会(～9月25日)参加者計89名
- 10月12日 東成瀬村北ノ又沢Ⅱ・Ⅲ遺跡確認調査開始(～10月30日)、にかほ市ヲフキ遺跡確認調査開始(～10月23日)
- 10月21日 大館市片貝家ノ下遺跡レーダー探査(～10月22日)
- 11月3日 新図書館開館5周年記念 第6回八郎潟町立図書館セミナー  
記念講演「八郎潟周辺の縄文・弥生」(所長講演)(はちパル)
- 11月9日 にかほ市堂ノ前遺跡確認調査(～11月20日)

【令和3年】

- 2月16日 秋田市久保田城跡発掘調査(～3月31日)
- 3月6日 令和2年度秋田県埋蔵文化財センター発掘調査速報展(秋田県埋蔵文化財センター)
- 3月18日 秋田市久保田城跡現地見学(秋田令和高校)

## 第5章 運営協議会

- 1 委員：小松正夫委員長、瀬田川仁副委員長、金子徹章委員、栗林靖雄委員、栗谷川学委員、佐々木淳一委員、照井政裕委員、堀川克利委員、山崎裕子委員、渡部育子委員
- 2 事務局：磯村所長、藤原副所長、川本総務班長、村上調査班長、袴田中央調査班長、吉川資料管理活用班長、谷地弘田柵跡調査事務所班長、堀川学芸主事
- 3 第1回：書面開催（意見及び提言等の集約 令和3年5月25日～令和3年6月15日）

- (1) 案件 ① 令和2年度業務実績報告
- ② 令和3年度業務計画案
- ③ その他（要望等）

- (2) 意見・提言・要望等（抜粋）

- 毎年、着実に調査・研究が行われていることに心より感謝申し上げる。私自身、センターの方へ出向いてみることはあまり多くはないが、新聞の記事になったものは欠かさず目を通してしている。ひそかなファンは相当数いると思われるので今後も新聞やニュース等で適宜情報発信し、センターウェブページとも関連させる等工夫を続けていただきたい。
- 出前授業では、本物の土器に触れたり、縄の模様付けをしたりと興味深い学習が含まれている。学校周辺地区にある遺跡についても地図に示す等、教師では資料化できない地域教材として大変うれしく思っている。
- 令和2年度もおおむね順調に遂行されたことから、令和3年度の特に活用普及事業計画についてはコロナウイルスの終息の如何ともかわるが、妥当な内容であると思われる。
- 大湯環状列石、伊勢堂岱遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に相応しいとして勧告された。発掘調査の担当者、遺跡の保存と保護、そして14年間、登録に向けて尽力された行政関係者に敬意を表したい。しかし、世界文化遺産登録の真価が問われるのはこれからだと思う。当該遺跡所在地の自治体は勿論だが、県内の埋蔵文化財関連施設や遺跡にも注目が集まること予測される。埋蔵文化財行政の指導的立場にある秋田県教育委員会埋蔵文化財担当者は、広報や管理運営指導等に大きな責任を背負うことになる。特に、秋田県埋蔵文化財センターはその中心的存在にあり、今後はセンターや県立博物館を始め県内各施設や関連遺跡で多くの来訪者を迎えることになるだろう。7月の本登録に向けてその価値を高めるためにもセンターの各事業、イベント、展示内容の充実（世界文化遺産登録を冠したものを組み込む等）や解説員の質的向上に一層力を注いでいただきたい。
- 秋田県で唯一の埋蔵文化財の調査・研究機関としての貴センターの活動は学術的にはもちろん、活用普及事業は重要である。埋蔵文化財の調査・研究のみならず、出土文化財の整理・保存を、将来的にはAIの活用等を見据え、十分な予算措置の継続をお願いしたい。
- 弘田柵跡調査事務所事業では、関連遺跡の調査から成果が得られることを期待している。

4 第2回：書面開催（意見及び提言等の集約 令和4年2月7日～令和4年2月18日）

(1) 案件 ① 令和3年度事業報告

② 令和4年度事業計画案

③ その他（払田柵跡調査事務所50周年記念事業等）

(2) 意見・提言・要望等（抜粋）

- 地道な調査活動により、新しい事実やこれまで推定していたことが裏付けられるなど貴重な成果が得られていることを知った。秋田に住んでいながら、遺跡について触れる機会が少なかつただけに、発掘調査によって分かってきたことは、より新鮮に感じる。同じことは、子どもたちにも言えると思われる。もし、学校から近い場所に発掘現場があり、その様子を見学したり実際に発掘作業を体験したりすることができれば、地域から学ぶ優れた体験活動になると感じた。このように発掘調査は、秋田に住んでいる私たちに貴重な示唆を与えてくれている。地域住民や子どもたちのためという視点ももち、今後も調査活動を続けてもらいたい。
- 今年度もコロナ禍の状況にありながら、活用普及関係事業の多くが実施され、多くの参加者を得ていたことに驚いた。特に出張展示「あきた埋文の最前線」への3520人の参加は特筆すべきかと思う。
- 活用普及事業報告を見て、改めてコロナ禍の影響が大きかったことを実感した。特に、中止が多かった「体験教室」は、事業の性質上参加者との三密や接触の機会が避けられない部分もあり、担当者の精神的な負担も多かったものと推察する。ただ、体験行動は、児童を始め参加者にとって理解や興味を誘う学習過程だけに、今後もできる限りの範囲で「体験教室」の機会の維持と充実を図って頂きたい。
- コロナ禍での活用普及事業、40周年記念事業には様々な苦労があったと推測される。一律に、中止・閉館・オンラインのみの開催にするのではなく、可能な限り「見て、話して、触れて」文化を味わう場を提供したことは大きな成果であり、そのノウハウ、工夫は後世に語り継がれるべきであると考え。簡単な記録でも残すことで、例えば創設50周年記念事業には活かされると思う。コロナ禍での文化事業活動についてはライブへの影響などのほかは、あまり報道されないが、継続のための工夫を可視化することで文化財に対する認識にも新たな発見があるのではないだろうか。
- 動画での情報発信について。市教育委員会制作の動画にも、埋蔵文化財センターの職員が登場している。埋蔵文化財センター主催の講演会の様子等、もっと紹介できないものか。平易な内容であれば、授業での活用も考えられる。
- 払田柵跡調査事務所の調査50周年記念事業の主体は払田柵跡調査事務所であるが、埋蔵文化財センターと共催の形をとる必要があると思われる。



## 職員名簿

	職 名	氏 名
	所長	磯 村 亨
	副所長	藤 原 健
総務班	副主幹（兼）班長	川 本 健太郎
	副主幹	柴 田 優
	主任	皆 川 哲
調査班	副主幹（兼）班長	村 上 義 直
	学芸主事	鈴 木 裕
	学芸主事	赤 上 秀 人
	（兼）文化財主査（本務：払田柵跡調査事務所）	谷 地 薫
	文化財主査	高 橋 和 成
	文化財主任	赤 星 純 平
	文化財主事	小 山 美 紀
	文化財主事	小 松 和 平
	文化財主事	大 上 立 朗
	文化財主事	結 城 智
資料管理活用班	副主幹（兼）班長	吉 川 耕太郎
	学芸主事	柴 田 浩 一
	学芸主事	堀 川 昌 英
	文化財主事	乙 戸 崇
中央調査班	主任文化財専門員（兼）班長	袴 田 道 郎
	副主幹	小 松 恵美子
	副主幹	宇田川 浩 一
	学芸主事	櫻 庭 悦 央
	学芸主事	山 村 剛
	文化財主査	山 田 祐 子
	文化財主事	富 樫 那 美
	文化財主事	森 谷 康 平

# 秋田県埋蔵文化財センター年報40

令和3年度

発行 令和4年6月

秋田県埋蔵文化財センター

〒014-0802 大仙市払田字牛嶋20番地

電 話 (0187) 69-3331

F A X (0187) 69-3330

U R L <https://common3.pref.akita.lg.jp/maibun/>



